京城日報

本紙定價 一箇月七十五錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

一月十二日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇伯林光景慘澹 激戰到る處に起る

伯林特電＝七日夜より八日午前に亘り伯林市內各所に戰鬪起り砲聲銃聲相轟きて慘澹たる光景を呈せりスパルタカス團は主として市街東部より西北に亘る地區を占領し居れり宰相邸宅及び外務省邸宅は戰鬪の中心となり居れるもの丶如し議會及びステチナ停車場レールテル停車場附近にも激戰起り政府はポツダムより軍隊を招致したり此軍隊はハーデン湖を經て八日伯林に到着せり七日晝頃の形勢は政府側優勢なるも伯林北部の學校及其他の重要公共建物は破壞せられたるもの丶如し（東京特電）

◇ス團休戰拒絶

ベルン來電＝伯林よりの電報に依れば政府軍とリープクネヒト軍とは政府の要求を拒絶する爲め休戰することゝなりたるが政府はスパルタカス團に對し公共建物より引揚げ前警視總監アイヒホルンを捕縛せんことを要求せり而して一方コツペンハーゲンに達したる情報に依ればスパルタカス團は政府の休戰交渉を刎ね付けたりと（東京特電）

◇パ軍ポツダムに進軍

華盛頓來電＝伯林に於けるハリス將軍の行動は不穩なりと思考せらる、バイエ將軍の率ゐる師團は砲兵及び機關銃隊と共にポツダムに向け進軍しつゝあるスパルタカス團を擊破せんとしつゝあり（東京特電）

◇一時的平靜を保つ グレーネル將軍の鎭定策

倫敦來電＝伯林よりの電報は區々にして其眞相を知り難きも最近の情報に依れば七日の戰鬪は今日迄の爭鬪中最も慘憺を極め數百名の死者を出せりウイルヘルムストラツセに於ては接戰幾度も繰返されスパルタカス團は外務省を攻擊したるが七日夜一時的の平靜を保ち得るに至れるもの如し又一說に依ればヒンデンブルグ元帥は伯林に到着せりと傳へられルーデンドルフ將軍の後繼者たるグレーネル將軍は政府に對し信賴するに足る四十個聯隊を以て伯林を占領し騷亂を鎭定せしめんことを申し出たりと（東京特電）

◇エ政ス團壓倒 一千の露國過激派黨員あり

九日夜エベルト政府はスパルタカス團を壓倒したりヒンデンブルグ將軍は最後の場合に賴ふ可き軍隊を率ゐて二日間ポツダムに留まり居たるが同將軍は國民會議々員選擧を無事進行せしめんが爲め秩序維持の任に當る可く同將軍の判者は和見を爲せる伯林の一部軍隊をして其態度を決せしめたるもの如し獨政府は暴徒の巨魁逮捕に着手したり巨魁中には約一千の露國過激派黨員あり要するに大體伯林の形勢は緩和されたるもの如くなるも猶戒嚴令を布き居り（アムステルダム電報）

◇獨艦艇破壞如何

英國諸港に抑留中の獨逸艦艇の大部分を破壞するや否やの問題は未だ聯合國の商議に上り居らず右に就き一巴里新紙は其合理的解決法としては之れを聯合國間に分配する事にありと說けり（巴里電報）

◇西伯利米兵數

其筋發表＝目下西伯利北露方面にある米軍將卒は一萬二千九百四十一人なりと（東京特電）

◇米歐洲供給食糧

フーバ氏が巡回調査したる結果に據れば次の收穫期迄歐洲被害地方人民に食糧を供給せんには少くとも數量百四十萬噸價格三億五千萬弗の食糧を要す可しと（華盛頓電報）

◇信任狀交附

講和全權委員に對し西園寺侯、牧野、珍田男、松井兩氏に對し近く講和全權委員信任狀を交附することゝなり一兩日中御裁可あり次第右信任狀を一括し西園寺侯に交附さる可く多分內田外相之を携へ見送り旁神戶に西下す可し尙伊集院大使も委員として參列することに決せるを以て同氏に對しても同樣交附さる可し（東京特電）

◇後藤男渡米

目下近畿地方旅行中の後藤男は本月末渡米し後英佛に赴く可しと（東京特電）

◇辭令

十一日左の通り辭令ありたり（東京特電）

任朝鮮總督府技師 能田新太郎

烏拉爾より（一）

從軍記者 金谷眞

◇ウラルの山はわれ〳〵日本人によく識られた名稱である、『ウラル、バイカル打ち越えて……』は筑前琵琶でお馴染の文句、今では此の文句通りを實現するのも僅に一擧手一投足の勞となつた

◇ウラルの山は一帶の高地で西伯利亞から歐露に橫斷する時でも何處がウラルか一向氣付かずに過ぎる位である、山には湖水があり鑛山があり、製鐵所があり、村があり町があり赤松があり白樺があり、それに鐵道も縱橫に貫いてゐる

◇十二月十一日エカテリンブルグからチエリヤビンスクへ南下する日は好天氣の所爲か氣溫は零下一〇度、森林の赤松や白樺が水蒸汽の結晶で白く雪の花をつけてゐたのは綺麗であつた

◇エカテリンブルグ市とチエリヤビンスク市は共にウラル山中の有名な都會であるが近年は西伯利のオムスクからエカテリンブルグに通ずる北線が開通して以來エ市を通過して露都に行く者が多くなつた、從つて街も巨きくて美しい、尤も歐露のヴオルガ河と西伯利のオビ河を連結する爲めにエカテリンブルグとペルム間の鐵道が竣工したのは今から廿五年前、歐露の鐵道を西伯利に延長する爲めにチエリヤビンスクに鐵道の出來たのは今から廿八年

◇數日前歐露の戰線から西伯利に歸る兵士の一隊五百名がチエリヤビンスクに著いた、彼等は從來獨逸國境の戰線に居た者であるが休戰條約が締結さるゝと共に鄕里の西伯利に歸ることゝなつた

◇彼等はヴオルガ以東の過激派の戰線を通る時には『此處に停まつて反過激派と戰へ!!!』とすゝめられたさうであるが『モウ戰爭には厭々した!!!』と答へつゝ歸つたさうである、尤も中にはウラル前面の兵から過激派と間違へられて砲彈を喰つた連中もある

◇チエリヤビンスクの街では破れた長靴に汚れた背嚢を負うた彼等に就いて頻りに歐露の樣子を訊く女房連を見た（大正七年十二月十一日）

◎通信收入前途 純益增加奈何

朝鮮の通信收入は大正七年度に於て財界未曾有の膨脹に際會したるため來る三月末を以て締切るその全年度の收入は

▲五百萬圓を超過すべし

この豫想なるが尙ほ右の收入を通信事業のみの損益より見れば未だ漸く純益七八十萬圓に過ぎざる狀態にあり乃ち之れを內地遞信省に於ける年額概算一億圓の收入に對し五千萬圓內外の支出に過ぎざる狀態乃ち支出は收入の五割に過ぎず他の五割は海事電氣並に他の一般行政費に振り向け居れるに比せんか朝鮮にて漸く一割四五分の純益は極めて幼稚の狀態にあり然もコハ支出の增加扣むべからざるもののあり乃ち（一）從事員に加俸舍宅料等の支給あり雇傭人と雖も

▲給與の比率 內地よりも高きこと（二）內地に於ける三等郵便局は殆んど地方名望家の副業となり居る觀あり從つて遞信省の三等郵便局に對する經費の支出は割合に少額にて事足るも朝鮮にては全く事情を異にし三等郵便局にても相當生活を立て得るだけ經費支辨を要する等の事情あり旁今後とも內地の例に見る如き純益の增加は容易に期し難からんも鮮人通信利用力の普及增加朝鮮財界膨脹に伴なひ年額百萬圓內外の收入を增し得べしとせば他の

▲行政費に振當て得べき通信事業の純益は今日の率以上に增加を期し得べしと

◎產業組合設置の要 本年度豫算面に經費を計上す

朝鮮に於ける產業組合は愈々實現の機運に向ひ八年度豫算面にも之に要する經費を計上せるが右產業組合設置の必要に就き當局者は語りて曰く『朝鮮には未だ純然たる產業組合は無いが之に準ずべきもの或は產業組合と同樣の性質を持つたものはある即ち

▲稧とか會とか 又は組合とかの名稱を附したものがある例せば產業組合中の信用組合に屬すべき貯金稧とか貯金會の如き又農稧と稱する生產組合の如きそれであるが現在では官廳としても只好意的に之を保護してゐるのみで之を取締監督する處の產業組合令が出來てゐないので折角組合員の積立てた金を役員が自己の爲めに或は自己の親戚等の爲めに費消して了ひ形式上は正當の支出の如きものとなつてゐて之を咎める事も出來ず結果は使はれ損に終る事が多いのである此の意味に於ても之れを純粹の產業組合として健全なる發達を圖る事が必要である、又生產者を保護し利益せしむる點から見ても必要である例せば彼の

▲朝鮮紙の如き ものは朝鮮の特產物として非常に有利なもので內地では原料等の關係上製造する事が出來ぬものであり又朝鮮紙の代用に和紙の代用は不可能である點と農民が農閑期の冬を利用し又冬でなければ造り出來ないもので益々生產の增加を圖らなければならぬのであるが實際彼等製造者の狀態を見ると資本主の腹を肥やすのみで製造者は常に貧乏に困み生活の向上も何も出來ぬのである卽ち錢主は製造の器具を彼等に貸付して甚だしき不當の貸料を取り立て錢主は原料の購入或は製造期間の食料費をも貸付し別に相當の利子を請求せず製造した

▲紙を時價より も甚だしく低價に買上げ二割三割の利子以上の利益を收めてゐるので製造者は何程の金も實際は得る事が出來ぬ此等は產業組合の組織に依つて眞に勞力に酬ゆる丈けの利益を得さしめるより外に途は無い產業組合は只に組合員の生活を豐にするのみでは目的を達したものとは云ふ事が出來ぬ必ず彼等に幾分の貯金を殘さしめなければならぬから信用組合の必要を生ずるのであるが朝鮮には目下信用組合と同樣の性質の金融組合の設けがあるから此處に信用組合を設ける事は双方の發達を阻害する虞もあり此方面に就ては金融組合との連絡を執り產業組合員は金融組合員たり得る事とし差當り

▲生產、販賣、購買 の三種の產業組合を設置する事となるであらう組合員は織物、紙、陶器、漆器、蠶業の各業務に從事するもの其他一般副業的工業及び小商工業者を以てする事とし各道に於ては殊に產業組合主任の係員一名を配置し尙最も產業組合の發達すべき五六の道に對しては組合理事者に對する費用を補給する方針である手續の繁雜は利用上の不便を來す事多く未だ智識の進步せざる者も極めて簡便に加入せしめ得る爲め內地の如く登記或は囑託登記等の手續を廢して單に道長官の許可を以て設立せしむる方針である

▲產業組合 の如きものは自治的公共團體として發達せしむる事が理想ではあるが目下の智力財力に見て玆三五年の間は專ら官廳が指導監督に當り漸次組合員の自覺に依て獨立せしめたいと思ふ資金の融通に就ては金融組合或は又地方の銀行等に連絡を執

對支外交用意 和平前途如何

在東京 吐峰生

◇果然支那の講和委員は不穩の言辭を弄し始め候。而して北京の一新聞紙は、今次の講和會議を機とし、一切の日支條約を廢棄すべしと臆斷し、從來の日支條約はブレスト、リトウスク及びブカレスト條約と等しく、支那の悅んで商議せるものに非して、威壓の結果成立せるものなりと放言致し候ものなり

◇記者は夙に支那委員の態度を疑念し、帝國政府は講和問題に關し支那政府と隔意無き豫備商議を遂げざるべからずと做し、屢〻本欄に於ても之を力說したる者に候然るに此の點に對する霞ヶ關の用意は、未だ大いに周到ならず、而して陸徵祥君の東京訪問も至つて無意味に終りたるは遺憾至極に候

◇無論北京一新聞紙の曲論は、吾人の過重する所ならず、蓋し如何に支那委員と雖も、講和會議席上、日本と爭ふの無益不得策なる位は百も承知する所なるべければ也。ただ支那式外交は由來權謀術數に巧也、支那が委員以外の委員をして、列强委員の間に得意の遊說政策離間政策を執らしめんか、帝國の名譽、利益に關するもの〻絕無なりとは謂ふべからず、今更手段かりも無かるべけれど、一應霞ヶ關の諸君子に御注意する也

◇序ながら支那の和平統一は如何相成りしや。北京電報に據れば近々南北代表者の間に顏合せある段取に進むべきや。記者は現內閣の所謂勸告政策に多大の期待を掛けず、隨つて和平統一の前途を危む一人也。たゞ和平會議が出來損つた曉、徐總統の面目如何、所謂南方派なるもの、進路如何、將た又原內閣の對支新方策如何

◇單に仲裁くせよ、國內紛爭に眠るを勿れと勸告するのみならば、驅け出しの新聞記者と雖も、容易に對支外交を口にし得べし。苟くも國家が自國の面目にかけて他國の內政に勸告したる以上、何等か第二段第三段の實行手段の決心無くして叶ふべきものにあらず、知らず內田外相に何等の成竹ありや記者の大に聞かんと欲する所に候

◇聰明なる原首相は夙に勸告政策の無價値なるを看取し、對支方略の大轉回を試むべく、私かに決心せりと信ずべき理由あり。吾人は一日も早く新方略の活潑なる發動を期待するものに候、吾人は現內閣が對支外交をして、無意味なる俗論迎合外交に終らしむるに忍びず、議會も眼前に迫りつゝある今日なれば、對支外交の一躍轉は政府の對議會策としても必要なるべく候（一月六日）

◎白豆禁輸取消 某當局談

政府は食糧調節の一策として豌豆及び澱粉の輸出を禁止し輸入を奬勵する事とせるが北海道に於ては之れ產業の根本的破壞なりとて激烈なる反對運動を試み政府に於ても研究の結果今回豆類の輸出を禁止せざる事とせる旨は東京電報の報ずる處なるが朝鮮に於ても昨年異狀の生產高を示せる白隱元豆に對し打擊を蒙る事となれるを以て淸津間島方面に於ては非常に驚き總督府當局に對し陳情救濟策を懇請し結局

▲解決を告ぐ るに至れり右に就き某當局者は曰く『豌豆澱粉の輸出禁止は未だ法律で發布された譯では無く唯政府の意嚮に過ぎなかつたので政府も北海道の產業に及ぼす影響の餘りに甚大なるに鑑み禁止令の公布を取止めたと云ふ事だが之れは却つて朝鮮にも好都合であつたと云ふのは北鮮の白隱元豆である白隱元豆は近年價格の騰貴と共に奧地の栽培熱は非常なもので當業者は十七萬石位の產額があると云つてゐる又雄基方面から船便に依て淸津に搬出せらるゝ數量は毎日

▲四五百噸に 上るさうである然も此白隱元豆は今後三月頃迄は主として米國に向つて輸出せられ此の勢ひで行けば朝鮮の輸出品として重要な位置を占めるであらうと囑望して居た際であるから若しも禁輸が實現する樣にでもなれば折角の新貿易品が駄目になり延いて生產者も非常に損害を蒙る事であらうと考へ當局でも政府に禁輸の意嚮があると云ふ事を知つて實は朝鮮にも影響を蒙るものがあるが一應念

◎銀行貸出警戒 米價氣配弱し

米價は未曾有の暴騰をなし京城に玄米石三十二三圓の高價を示するや內地に於ける

▲米價の狂騰 は朝野の問題となり政府にても外米の輸入解禁を英佛領に交渉し既にサイゴン、東京米は輸出禁止を解くに至り又最も多量の輸出力を有する蘭貢米も相當多量に輸入し得る見込なるより更に內地に於ては大麥、小麥の輸出を禁ぜんとするの方針に出で現下の米價の調節を繼續し以て米價の前途は一反落を免れ難き形勢にあり殊に昨秋產米の出廻り遲延は自然今後の

▲廻米增加 を誘致し來るべしと思はるゝに付穀物商は甚だしく戒心を要し貸出しを拒み居れり殊に二十四五圓附近ならば時價九掛の貸出しを拒まざるに拘はらず今日の米に對しては七掛乃至七掛半より金融を附せずとすれば同收を急がんとする傾きあり然も內地の期米市場は外米輸入の調節策氣構へを材料とする戾し賣人氣に氣配偏頗しつゝあるに付相場の變動により銀行家の態度を捺するに至らば

▲相當投物 も出で來るべしと思はれ存外その下押は急激なるやも知れずと觀測消息通の間に行はれつゝあり

◎物產組合縮少

西伯利出征軍に對し軍米供給を主として行ふべく客秋朝鮮の有力者により組織されし物產組合は其後政府にて漸次撤兵を續行し出征軍所要の白米を供給し盡せしより其後の供給をなすの必要なきに至り目下の所大に事務を縮少し居れるがその內時期を見て解散するに至るべし

◎歸還兵輸送期

今回凱旋すべき西伯利派遣兵中の鮮滿鐵道經由歸還の部隊は來る廿二日頃より奉天通過一部は大連に一部は朝鮮經由歸還の豫定なるが輸送上の關係上或は奉天に於て若干の滯在部隊を見るに至るやも知れずと尙該輸送は約三週間にて結了すべし（奉天）

◎京畿養蠶狀況

京畿道內に於ける昨年中の養蠶狀況を聞くに春蠶に於ては二萬九千九百八十戶、夏蠶に於て三千五百八十六戶、秋蠶に於て一萬七千二百七十戶にして農家總戶數に對する養蠶戶數の割合を見れば春蠶一割二分一厘、夏蠶一分四厘、秋蠶三分八厘の步合を示せり又掃立枚數は春蠶に於て三萬六千六百十三枚、夏蠶に於て三千七百七十六枚、秋蠶に於て一萬二千四百七十九枚合計五萬二千八百六十八枚にして之に對する蠶種別掃立枚數に對する產繭額は春蠶に於て一萬四百八十三石、夏蠶に於て八百三十八石、秋蠶に於て二千七百二十七石合計一萬四千四十八石を算し之に對する產繭の割合は新品種八步、內地種九割二分を示せり

◎漢銀の張宴

漢城銀行專務韓相龍氏は十一日夜千代本に京城新聞通信雜誌記者を招待張宴せしが開宴に臨み韓專務の挨拶に對し藤村本社支配人の謝辭あり主客歡談裡に十時すぎ散會せり

□週相官邸より（一月六日）

○○○○○ 大塊

今朝の空晴れて光るや峰の雪 虎耳

大塊翁は自筆で無ければ氣が進まず何れへもまだ賀狀を出さずに居ると言はれる

講和期も近き世界の初日哉

△鎌倉より（一月七日）

本朝大塊翁邸を辭し東京を離れて此地に來り無佛居士の來るを待つ―虎耳―

入の句

身の春や初禪に道はるべし

□財界の新舊人

明日刊より連日掲載

人事

▲韓相龍氏（漢城銀行專務）十七日頃東上の豫定

八面鋒

◇前回衆議院議員選擧に憲政會の切れ者安達謙藏氏が熊本縣の選擧區に於て無殘にも落選したるに、同志の當選者たる平山岩彥氏は自己の當選を擲ち次點者たる安達氏に其の地位を讓り渡したることは當時の與たりき

◇之と類似せることは今回の英國總選擧にも現はれたり、即ち前首相にして自由黨の首領たるアスキス氏はどうした表裏の孤塁か、マンマと落選し、當の敵の聯立派さへ頗る政界の寂寞を感じ居る際、アスキス派の一人が、逸早く自分此際當選を辭すべきを以て、ア氏が補缺選擧に出馬せよと慫慂せりと云ふ英國の選擧法には次點者を引上ぐるの規定なきを以て、缺員ある場合には是非とも補缺選擧を行はざるを得ざることになり居れるなり

◇西伯利は鐵道其他有らゆる機關が荒廢に歸し、其ま〻抛置するときは經濟的枯渇を免れざるの狀況に在り、之に對する米國の活動は驚くべきものにして、其の勢力は隆々として旭日昇天の概ありといふ、日本の援露經濟調查會は今何を夢みつゝありや

◇出來調查の長きは日本の特色にして、其の調查の漸く出來上る頃は時機既に逸し去るを常とす、諺にいふ巧遲は拙速に如かずと況んや拙遲をや

◇仲小路商農相貴族院に於いて大に現內閣の米政策を攻擊せんとすときむ、還るべし大に還るべし、然し仲小路氏の米政策は決して失當にあらず、唯其任に當れる仲小路其人の德望作なはず、彼が如き結果に終れるなり、現內閣の無策無能を攻擊するには持つて來いのハマリ役なり

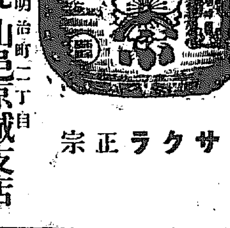
▲薪 炭 山成德用品
▲新明太子 樽入り內地土產
▲石油各油 卸小賣
京城本町三丁目 貿易雜貨商 今藤富國太郎商店
長電話二二〇八番 電話三九〇一番 振替京城一七七八番 電略（ク）又ハ（フ）

職業
遠近男女暇隙共自宅にて簡易に出來るキレイな仕事年中無休取引確實親切完全取扱總切販路多大有利確實●本業又は副業で相當收入を希望する方は速時申込あれ●見本付說明書實況寫眞入郵券拾五錢送
原紙貸與熟練日收貳圓位
全國市郡特約店募集
三晃商會總本店
東京市本鄉區本鄉一丁目八番地大通 電話下谷三五五四番 振東四一四七七

今回當會理事（太眞之京二）著者阿部辰之助儀鮮內各道視察ノ爲メ來ル廿日ヨリ向一ケ月ノ豫定ヲ以テ當地出發南鮮地方ヘ出張仕候ニ就テハ京城ト各地トノ連絡ヲ要スベキ用件有之候ハバ來ル十八日迄ニ當會宛御申出相成度此段謹告候也
大正八年一月十一日
京城櫻井町一丁目廿九番地 京城調查會

朝鮮學術研究會編 發行所 京城ウツボヤ書店
中學校 商業學校 高等女學校 高等普通學校
入學試驗問題答案集
大正七年度 四六版二百餘頁 定價金五十錢 送料四錢
入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ
發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次販賣所 大阪屋 岩松堂

▲セメント著荷
京城古市町 苫米地商店
電話九四二、三一〇八番 振替京城五三番
(1)

宮內省御用達
兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造

櫻正宗櫻魂發賣元 京城明治町二丁目 山邑京城支店
電話長八四九番 一四五四番 振替貯金口座京城七五五番
サクラ正宗

製造元とのやくそくで
割の安い品そろいの
砂糖、麥粉、食、金巾、綿寸、石油、洋燭、鍋釜、瓦、乾物、罐詰、ビール、サイダー、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋其他日鮮人向雜貨食料品
大おしろ店
仁川本町 河野本店 電話二八一番 振替京城二二番

株式會社 第一銀行京城支店
資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
京城本町二丁目 電話一〇六一番 一三一七番 振替貯金京城一一一番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

瓦斯電氣會社特約販賣製造
コールタール
金物商 島田忠作商店
龍山漢江通り九 電話四九番

大正七年七月一日改正現行

◎ヴオルガ平野の戰線を視る（一）

カツペル孤軍團は今しウラル前面の花形である

◇——四邊一望白皚々の平野に風が吹くばかりヴオルガの曠野は雪の海である——◇

『あゝ日本人!!日本の兵士は何時來て呉れるか?』

歐露の第一線ツイマダ驛にて 從軍記者 金谷眞

歐露の白虎隊カツペル將軍の兵團は今しも雪のヴオルガ平野を奮戰して居る、將軍麾下の孤軍は記者が第一線を訪れた翌廿（十一月二十八日）敵騎兵の襲擊によつてその後方鐵道線路の鐵橋を絶たれた、場所はウラルの西方ウフア市からシンビリスクに通ずる線路、ヴオルガ河の支流はイク河々畔のツイマダ驛の後方である、記者は桑木砲兵大尉と共に敵の襲來前數刻にして同鐵橋を通過した、今少しまごつくすれば過激派騎兵の襲擊を被るところであつた、しかしカツペル將軍は勇敢であつた、將軍は乃ち退路を斷たれると同時に長驅敵中に、突進して南方四十露里のベリベイ市街を占領した、桑木大尉はチエリヤビンスクを出發する時からカツペル將軍の勇剛果斷に富んだ事を語つてゐた、實戰に臨んで見ると果して其の言の如くであつた、カツペル兵團は今しウラル前面の花形である、これがヴオルガ平野の白虎隊と稱する所以で除りに將軍の部下が勇敢なのと除りに敵の兵力が多數な意味に他ならぬ、カツペル兵團は今し腹背に敵をうけつゝ雪のヴオルガ平野を奮戰して居る、ウラルの戰線は漸次歐州大戰に於ける

取殘された

唯一の戰場となつた、最早や西部戰線では休戰條約の成立した今日過激派と反過激派の戰爭は一種の露國々内の内亂に過ぎぬとも言へる、しかし現狀の儘では今後何時まで混亂するか殆んど豫想がつかぬ、ウラル正面には今チエツクの陸軍大臣ステフアネツク將軍が來た、而して全軍統率はスイロウイ少將これに當り北はガイダ、中央はリユボフ、南はカツペルがこれに當つてゐる、更に南方オレンブルグには哥薩克の統領ズウトフ中將が目下頻りに敗るる、十一月二十七日の朝わが列車はシンビリスク線の一寒村ツイマダ驛に停車した、此處はウラル前面の第一線でその後方十數里の地點には

最早や優勢

な過激派軍が迫つてゐた、即ち我等の立つたツイマダ驛は楔の如く敵中に突出した其の尖端であつた『ウフアの街を昨夜出たのに意外に早く着いたね』と語りながら窓外を見れば縱の軌道に長く軍用列車の行列が並んでゐる、赭い貨車の中からヒヨツコリ兵士が首を出したのは此の戰線に於ける宿營舍である、中には車から降りて薪割を始める者もある、車體を青色に塗つた赤十字の車からは白い頭冠りの看護婦が出て來る、馬に曳かせた橇に乘つて向ふの禿山の村から歸る兵士も居る、村は巨きくゆるやかな波狀形の野山の麓にあつてその間一つの眼界を遮るものとても無い、遙か向ふの村の中に錐の如く尖つたお寺の塔が見ゆる、チエツクの從卒に訊ねて見ると『あれは

回々教の寺

で家は韃靼人の部落です』と答へた、小さい淋しい驛に降り立つた記者は頻りにあたりの兵士等から注目された、カアキ色の破れた木綿服の兵士は雪除けの手を休めて『あゝ日本人!!日本の兵士は何時來て呉れるか?』と熱心に訊いた『バイカル附近までは來てゐるが……』と答ゆると『何とかして早く來て欲しい、勇敢な日本軍が來ればモスクワまでは一箇月以内に行ける……』と言ふ、いかにも此ヴオルガ原頭旭日旗を翻すのは今であらう、ウラルを越ゆるのは今であるが果して我陛下の日本にはこれを遂行する底の大なる勇氣があるか何うか?獨逸が屈伏した今日では日本軍が

堂々莫斯科

に進みペテログラードに入るは眞に一擧手一投足の勞である、今日歐露に入つて戰禍に惱める友邦の民を救ふには正に東洋君子國の禮誼であらねばならぬ、日本の從軍記者、これから軍の司令部に案內します』と丈高き一士官が來た、誘はるゝまゝにツイマダ驛の後方木造のとある獨立家屋に向ふ、四邊は一望雪の平野に風が吹くばかり、ヴオルガの曠原は雪の海である（つゞく）

◎獨大統領の器材

‖故ヘルトリング伯の事共‖

獨帝が獨國の頽勢挽回を委した人

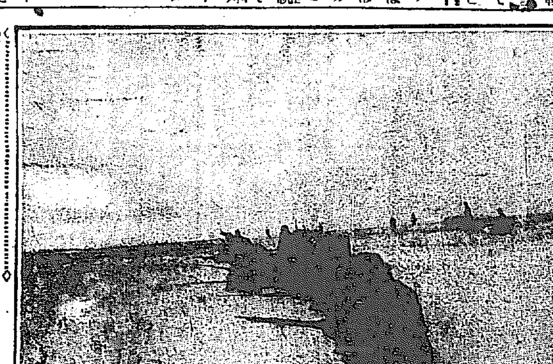
逝去した獨逸前宰相ヘルトリング伯について長く伯に師事し伯とも面接したる某教授が語る伯は千八百四十三年に獨逸西部中のエツセンのダルムスタツトに生れた人でゲオルグ・フオン・ヘルトリングと稱しミユーヘン大學卒業後はボン大學の助教授となり次にミユーヘン大學の正教授に昇任した併し後千八百七十五年に中央黨の議員として國會に選出され獨逸國會に現はれた人で以來伯は政界に活躍し漸次其の才能を發揮して中央黨の重鎭と仰がるゝに至つた當時伯は保守黨の首領たるハイデブラント氏と相並んで獨逸帝國議會の

◇二大明星 を以て目せらるゝに至つたに徴しても伯の人物を窺知することが出來よう千九百十一年に巴威國王の知遇に感じ遂に獨逸帝國議會の議員を辭し巴威宰相の印綬を帶ぶるに至つたが千九百十七年十一月に獨逸帝國の大宰相に任ぜらるゝ迄巴威の宰相として南獨逸の大國を統治した當時巴威は普魯西國と異なり國民共和思想に侵染し居れるにも拘らず能く國民精神の歸嚮を察し一點非難の聲を聞かなかつたのは如何に伯が宰相としての德望を具備せるかを證明するものである前獨帝がベートマン博士を擧げて獨逸帝國の

◇大宰相に 任ぜるも遂に獨逸政界の反對分子を調和する能はずして排斥したので此獨逸政界の混亂を救濟す可く前獨逸帝國の宰相は普魯西の宰相を兼ねたる規定を破つて南獨逸の巴威王國の宰相ヘルトリング伯を擧げて獨逸帝國の大宰相に任命した之れは前獨帝は獨逸帝國の頽勢を挽回するの人は伯でなければならぬと考へた結果であらう然し大廈の倒るゝ能く

◇一柱の支持 す可きに非ず流石の氏も聯軍一度マルヌの河の勢ひ當る可らざるに及んで再び第二次大會戰に敗退し聯合軍が決して獨逸國內の大暗流は俊手の阻止し能はざるを知り遂に千九百十八年十月に大宰相の榮位を擲ち之をバーデンのマツクス公に讓つたのである伯は學者肌の政治家で極めて溫厚謙讓千八百七十一年頃から盛んに宗教に關する著書を爲し世道人心に貢獻する所があつた、伯にして將來獨逸の政治讓會後獨逸民族の大結合を見るに至り共和國の出現を見んか政界に於ける中央黨の勢力如何に依つては或は大統領に選出さるべき人であつた

觀戰畫報



◇イク河畔の激戰（上）雪は霏々として ヴオルガ平野に亂れ飛び敵の榴散彈は盛んに中空に破裂する處。◇カツペル兵團の勇敢なる看護婦（下）＝金谷從軍記者撮影＝

◎京義線一等車にて 高等官自殺す

京城工業專門學校教授木村俊吉氏

西洋剃刀にて頸動脈を切斷して……

十二日午前六時新義州發釜山行きの列車が京義線長湍驛に差蒐らんとし電燈の光り淡く乘客は未だ殘夢を貪りつゝある折柄一等客車の中央に當り只ならぬ物音あり隣席せる乘客は夢を破られて不圖隣席を顧みるに高等官の制服を着けたる年若き紳士が鮮血に塗れて腰掛より轉げ落ちたるを發見し室內は忽ち大騷ぎとなり車掌乘客相寄りて手當を加へしも鋭利なる西洋剃刀を以て頸動脈を切斷し居ることゝて遂に縡切れたり而して同人の衣囊より發見せる名刺には中央試驗所技師、京城工業專門學校教授木村俊吉とあり、其裏には歐文を以て記せる數行の文字あり別に釜山浦南大門驛間の切符及び現金七十圓を所持したり右は全く覺悟の自殺なること明なるも別に遺書とても發見されず其後水色驛まで運び同七時過ぎ同驛にて屍體を下し直ちに所轄官憲及び關係方面に向け通知を發したるが同日午後一時頃京城より係官及び警部急行し自殺者身許の者三名も自動車を驅つて同驛に著し茲に一應の檢視を終へたり

▽應用化學出の工學士 自殺せる中央試驗所技師木村俊吉氏は愛媛縣の人にて本年三十歳にして夫人タメノ子（三）との間にカヨ子（三）の二人暮しにて大正六年北大學を卒へたる應用化學出の工學士にして卒業後直ちに朝鮮總督府技手を拜命し昨年技師に進みたる頭腦明晰の俊なりしこと

▽襟に顏を埋めて…… 自宅に夫人を訪ふ 本町二丁目木村技師の自宅に夫人を訪ふ、家には同氏の凶報を聞いて駈付けた中央試驗所員及び知己の人々が訪問客に混雜し居り記者が玄關に刺を通ずるや夫人は盡き果てて手をつかへ『何うもわざ〳〵有難う御座います』とて流るゝ涙を隱さんとする心の中を推し測りて記者もそゞろに悲愁の念に打たれたるが折柄當時乘合せたる車掌丹羽榮君訪問し細々と當時の模樣を聞かせたるより夫人は流石に座に堪へざるもの如く襟に顏を埋めて歔欷した

▽鮮血が葡萄酒を 流した樣に坐席の四邊を染め

若き高等官は縡切れて居ました

同車專務車掌 丹羽榮君目擊談

木村技師の自殺現場を目擊せる專務車掌丹羽榮君は語る『何でも木村技師は十二日午前零時黃州驛から乘込まれたでありますが坐席がなく止むなく二等車へ繰の上げました、一等車には僅か五人しか乘客はありませず木村さんの横には滿鐵社員の倉本藤太郎と云ふ人が隣合せに乘つて居られました、此の人が自殺なさる人とは當時私には思はれよう筈もなく只だ私には總督府の高等官の方だな位しか頭にはありませんでした、處が開城驛も過ぎ長湍驛へ著く頃車內で誰か自殺を企てゝゐると云ふ者がありますので私は車掌席に在りましたが直ちに二等車へ驅付けましたがどうも夫らしい人は見ねませんでした、一等車のドアーを押すと驚いたぢやありませんか、一等車の三人席の中に二本筋の方が釦を二つ脫して（と丹羽君は手を首に當て、見せる）左右の頸動脈を白い骨の露出する迄斬つてもう縡切れてゐます鮮血が丁度葡萄酒を流したやうに坐席の邊を赤く染め其の右方に西洋剃刀に紙を卷いたのが赤く血に塗んでゐました時間を見ると午前六時十分で丁度その頃乘客が熟睡する頃でしたから隣合せの人達も知らなかつたでせう』

▽強度の神經衰弱か? 豐永所長 更に同家に來れる農學博士豐永所長は曰く『どうも今は取り込んでゐるので詳しくお話も出來ないが木村君が自殺などをしようなどは夢にも思はなかつた自殺の原因なども證張り不明だ、職務に失敗があつたでなし、而も身體は頑健だつたのに精神に異狀あるなど毫も思はれない、或ひは長途の旅行で強度の神經衰弱でも起したのではないかと思はれる』

▽お父ちやんは あつち…… 記者が辭して同家を出でんとするこ木村氏長女かよ子（三）が玄關の靴脫ぎに立つた記者にハーモニカを吹きながら『叔父さん抱つこして』と居間からヨチ〳〵と驅けて來たさまの又なく憐らしく記者が抱いてやると『お父ちやんは あつち』と外を指したのには胸が詰まつた

◎雲ケ畑御獵 十三日より十日間開始さる

十三日より十日間京都府下雲ケ畑御獵場に於て獵狩仰せ付らるべき旨御沙汰ありたるを以て鍋島主獵官以下各主獵官並に陪獵諸官は何れも同地に向け出發す（東京電報）

◎大阪中の島 火災

大阪ホテル料理場より出火 集會所燒く

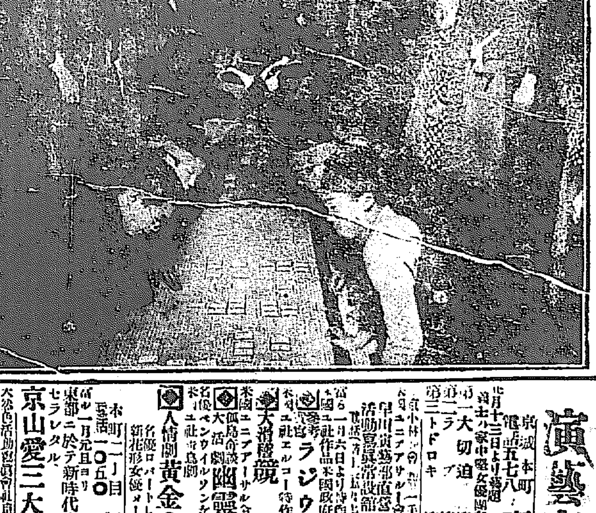
十一日午前七時十五分大阪市北區中の島大阪ホテル東端の同ホテル料理場より出火し同料理場を全燒の上東隣なる銀行集會所に燃え移り折柄の東風に煽られて火勢熾んに燃えしも木造なりし爲め火脚非常に速く八時十分に至り銀行集會所を燒拂ひて九時頃漸く下火となり大阪ホテル本館は幸に燒失を免れたり此附近には新築の中の島公會堂あり場所柄とて非常に混雜を極めたり原因は目下取調中なるがホテル料理場係り某が朝疑を覺し起床するや否や石炭燃料を焚き付けんとして薪に揮發油を注ぎ火を點じたるより此の大事を惹起したるものならんと尙ほ其際現場に居合せたる名古屋某は顏面及び胸部に大火傷を負ひ生命危篤にて此外北區消防夫二名負傷せり同ホテルには當日二十六名の外人宿泊し居たるが避難準備等に大混亂を呈し第四師團よりは消防應援として兵士百名を派遣し盡力の結果比較的速かに鎭火するを得たり（大阪特電）

◎火蓋を切つた歌留多戰

全鮮の猛者一堂に會す 分秒を惜んで練習開始

待ちに待つた歌留多大會、乾坤一擲の白兵戰を演ずべき歌留多大會の當日（十二日）は來た、夜來の雨名殘りなく霽れて朝日の影に小春を見る暖かさ、天心ありて今日の大會に幸すと云ふ者か、此日會場たる梅の家（南山町）の門前には『全鮮歌留多大會々場』と記せる徽章を染拔きたる社旗を交叉し一かに貼出て只管選手諸君の來場を待つ、旣にして午前八時を過ぎ刻一刻定刻に近づかんとするや各地各方面に亘る選手は三々伍々踵を接して會場に

▽元氣な顏 を見せ競技開始前までには ▲美矢飛會 岩城、榎本、中島、長谷川、久々田、村田、白石、谷口、井原▲かささぎ會 田邊、牧野、德島、吉安▲不二會 荻野、池田、德野▲鐵道軍 岩本、渡邊、山二、川坂、大島、菊地、兒島、佐藤、武藤、中村、森本、松江、渡邊▲不破▲明星會 小森▲二葉會 奥野、集會 下田▲無所屬 永井、大塚（與）上田、原、中田、遠藤、高田、岡



指頭火花を散らす 歌留多大會の第一回戰

…口、大塚、高野の諸氏合計

▽四十三名 と云ふ多數の來會を見ると相前後して觀覽者も亦々詰懸けて來たので差しもの大廣間も忽ち人を以て埋もつた、その裡に撰手連が片時の間も油斷は大敵と分秒を惜しんで練習を始める、朗々たる吟聲、勇ましい懸け聲、撰手は

▽後鉢卷に 双肌脫いで一堂の裡早くも歌留多氣分が漲ふ、この練習は却々油が乘り正九時の時間勵行が思はず時を過ごして第一回戰を開始したのは漸く午砲前である、今や利刄は鞘を拂はれた、前途は果して

▽雲か雨か 血湧き肉躍る壯觀は何れ明刊に……

◎店員表彰式 京城金物商組合にては十三日午前十時より長谷川町銀行集會所に於て創立十週年祝賀を兼ね同組合員使傭店員勤續表彰式を擧行する筈

演藝 ▲黄金館 十三日より新派劇全差替主なるものは滑稽（美人の眠り）喜劇（金と戀）新派悲劇（想夫憐）等なるが此の中（吃又平）は天活會社が多大の費用を投じて新たに撮影したる長尺物（想夫憐）は井上正夫一派の出演にかゝるもの ▲月魄 大正館では十三日から日活悲劇大作の中（月魄）全六卷を上場する筈（月魄）は人も知る菊池幽芳氏の傑作で是まで幾度となく映畫となりて現はれしが今回のは從來のものより遙かに優れ原作の筋に忠實にして遺憾なく…一層の光彩を添へ居れり ▲官官人形製造 ▲喜劇トン君早合點 ▲新劇武藏屋新藏 ▲活劇ドーグラスの大奮鬪

◎奉天通信 奉天支局

巡閲使署の成立

…署の組織に關する件を附議したる…に完全に通過したるが張巡閲使に於て著々其の準備を進めつゝありし…これに充て又使署辦公所には從來の…邸宅を以てし編制は八處兩課となし張…氏をして總參議長に任じ…退を着々實行せしめたるが最近奉天軍の湖南並に關内に出動せるを…撤退せしむべき意嚮を以て該部…諭告等の事件もあれば直ちに該司令部の撤退をなすべく決定したれ…は近々張…北調査の目的を以て督軍參謀長張作相氏は兩三日中に奉天發北京經…出張の途に上るべしと

天氣 京城地方（十三日） 晴 一時曇

日出 午前七時四十八分 日沒 午後五時三十六分

滿潮 仁川 午前一時三十分 午後二時四十分

大相撲懸賞 十二日限締切

演藝案内

壽座 京城本町 電話五七八 十三日より…

有樂館 …ラジウム礦業 …大活特作 幽靈船 …黄金の夜 全五卷

壽館 本町一丁目 電話一〇五〇 …新時代浪曲ノ泰斗 京山愛三大一座開演

黄金館 電話（夜間）二二六六・二二六七 …泰西活劇『美人の眠り』… 吃又平 讀心術 全三卷 想夫憐 全三卷

浪花館 京城明治町 電話二六〇 …

大正館 櫻井町 電話八七三 …武藏屋新藏 …ドーグラス …月魄 六卷

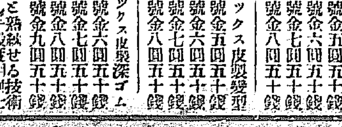
文樂座 本町五丁目 電話二三三八 …

機械貸付 三錢 日割 農家の寶 千歲號

精米麥機提供

模範牛乳 ニウソ

東亞牧場 京城四町目



ボックス皮製編上 一號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢 五號金八圓五十錢
ボックス皮製變型 一號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢 五號金八圓五十錢
ボックス皮製深ゴム 二號金六圓五十錢 三號金七圓五十錢 四號金八圓五十錢 五號金九圓五十錢
右は精撰せる材料と熟練せる技術を以て入念に調製し一般實用紳士靴として最も好適なり御注文の節は…
日野製靴店

安心の出來る…

奈良縣人諸子に告ぐ 奈良縣人大和會總會 日時 來十六日午後五時 場所 南山町松葉亭 會費 金貳圓

かぜねつ 婦人冷込に 何よりヨクキク 守妙

一千反限り 新機 高貴織 十八金色指環進呈

…昨年の…するが未だ其の…の成立を見ず其の儘となり居たるが去る七日の國務會議に於ても同…其の内容に就き仄聞する所に依れば使署の位置は豫て種々の噂を生みつゝありし督軍新宅を以て是…

奉軍司令部撤退

…豫てより徐總統は南北統一平和の希望により南征軍の運動中止撤…しが愈去る七日公式を以て張奉天督軍に命令し來りたれば張…部撤退に伴ひ…總統の意を體し且つは今回の…及び湖南方面…

夥しき滯貨＝四十萬噸
如何にするも到底捌け切れず

滿鐵沿線滯貨問題は屢々喧傳さるゝ處なるが社當事者の談に由れば當分の間現状を改むる事困難にして目下の處石炭輸送と軍需品輸送とに努め充分特產物の輸送を爲す事能はず隨つて沿線各地に約五十萬噸の大豆堆積する事となり之れが一掃に就きては當事の努力を爲すも同分輸送力に限度ある事とて西伯利出征軍の一部還兵輸送等の爲め三月中旬頃まで堆貨の

◆一掃困難　なる事情あり石炭の如きも例年夏期特產物輸送の閑散期に於て充分に運送貯藏し居る處なるが本年は浦鹽出廻り大豆の南下及四鄭線開通等の爲め大連出廻りの大豆著しく增し爲に例年の閑散期も常に相當の堆貨を見るの盛況なるが上に西伯利出征軍隊の輸送等のため夏期に於ける

◆運炭充分　ならず需用期に及び漸く各方面の需用を充たすのみの運送さへ思はしからざる有樣なるを以て特產物の堆積は誠に止むを得ざる次第なり現在の輸送力は滿洲線使用の車輛機關車二百七十輛客車二百四十輛貨車三千五百輛合計四千十輛にして此の輸送力は大正三年以來大なる進歩を見ざるに一方輸送貨物の

◆激增可驚　ものあり大正三年に於いて五百七十萬噸なりし貨物は大正六年に至り七百三十萬噸となり大正七年には八百五十萬噸に上り猶且軍隊の輸送等あり其の輸送力を割きたる結果沿線に夥大なる堆貨を生じたるは當然の事と云ふ可きなり之れが根本策としても別段執るべき方法も無く唯昨年夏

◆米國に　註文し置きたる機關車及び貨車は既に解荷せられ新機關車二十五輛は一月下旬到着の筈なるを以て直ちに沙河口工場にて組立て一部を朝鮮線に廻す事となり且つ多數の貨車も到着するを以て多分三月中旬より新輸送力を加へ堆貨一掃は固より不可能なるも或る程度まで

◆荷主の　要求に應ずるを得るならんとの事なり前記の如く滿洲線の現在貨車三千輛に對し特產物荷主よりの貨車要求は日々一萬輛以上に上り居るも之れに對する給貨車は僅に日々二百五十車内外なるを以て堆貨は益々增加の一方にて現在各驛に積込みのみにて四十五萬噸を蓄し居るを以て各地方市中に

◆積置き　の貨物を加ふれば其堆貨百數十萬噸に上るべく此の輸送方法に就きては苦心焦慮しきものあり猶大連埠頭には現在三十六萬噸の堆貨あれど猶收容の餘地あり且つ船腹も順調なるを以て貨車配給さへ付かば埠頭の堆貨は左程の困難は無かるべしと（大連）

異例なる
支那棉の輸入
◇品質は極めて粗惡也

近時支那產棉の平壤に輸入さるゝもの非常に多く朝鮮出張所の調査に係るところを見るに昨年十月下旬輸入開始以來十二月十日迄に一萬五千餘斤此價格一萬千餘圓を算せり本品は綿實にして殆んど總て安東仕出品なるが此輸入は嘗て見ざりしところにして全く平壤として異例に屬することなり而して本品の生產地は山東省及び天津產多く主として百二十斤梱包なり、斯く新に輸入されし事情は昨年平壤地方棉作良好にして收穫を見たるも之が出廻り期に於て農家の懐合潤澤なりし關係上賣急ぎせず且目先相場の昂騰を氣構へ孰れも賣腰强硬にて百斤三十圓乃至三十三圓見當を唱へ前年に比し四割の高値を示せり之が爲め取引の不振に伴ひ出廻り頗る閑散を呈せる折柄平壤商人は支那棉の輸入有利なるに着目し十月末試驗的輸入を行ひたる結果價格低廉なる點よりして需要を喚起し賣行好調を見るに到れり、爾來相場安き儘つゝある本品の輸入旺盛を極めつゝある狀態なり、尚右の外新義州、仁川より關稅品の同移入多く同時期に於て新義州二萬六千八百斤二萬一千圓、仁川より六千七百斤五千三百圓計三萬三千五百斤二萬六千三百圓の移入を見たり而して市價は初百斤八十五圓を唱へしも其後綿荷激增するに隨ひ下氣配を示し目下八十圓見當にて保合の姿なり以上の如く旺盛を極めつゝある本品の品質に就いて調査するところを聞くに其質極めて劣等にして到底朝鮮產棉に匹敵し得るものにあらず而も纖維太くして短く質脆弱にて彈力に乏しく且水氣多く撚曲少く其他光澤又乏しき等大體に於て紡績用に適せず之を他種棉に混合使用するも漸く太番手の紡績用に止まり而も歩留まり比較的低率にして夾雜物少からざる等の爲め結局紡績原料としては採算上有利ならざるもの、如く觀測されつゝありと（平壤）

鮮人教育機關の不備（平壤）
普通學校に入學し得るは漸く二三分の一

平壤に於ける朝鮮人教育機關として諸學校設備を見るに中等程度のものは論外とし普通學校として僅に三校の公立學校あるのみにして他は皆私立學校又は設備の不完全なる書堂を合し二十一校なるも之を數に於て見れば十分なるが如きも其設備に於て官公立學校に比し未だ劣れること遠きにあるは改めて云ふの要なかるべし而も毎年公立學校に入らんとする鮮人兒童は年々增加しつゝあるも之を收容する途なく止むを得ず選拔の上其二分の一乃至三分の一を漸く辛うじて收容するに止め選びに漏れたる者の私立學校又は書堂等に於て修學するもの現在實に約六百人を算し居れり一面大正七年度に於ける各公立普通學校の状況を見るに第一普通學校に於て七百二十八人の志望者に對し二百四十人を第二普通學校に於ては約三百人の志望者中收容せられたるもの僅に百五十八人女子普通學校に於ては二百四十人に對し約百二十人等を收容したるに止まれり斯の如き現象を示しつゝあれば此際尚一校乃至二校の增設を見るも敢て過ぎたるに非ざるべく而も現在公立學校の位置は北部に遍在して南部に其設備を見ず是等より見るも現下平壤に於ける鮮人教育は尚一層の設備を待たざるべからず幸ひに府當局に於ても公立學校增設の運びを進めつゝありと聞けば早晩これが出現を見るべきものと信ず

芽出度い事許
新春匆々電燈が點いて事業界に多望の晉州

新曙光輝く晉州の近狀　明けて嬉しき新玉の初春と共に明るい電燈が點されて晉州の前途に二道の光明が輝き渡つた果然久しき懸案であつた水道問題も解決され松田技師以下技術員も着任して本年度を以て九萬六千餘圓で工事に着手する事に決定し不日盛大なる鍬入式を擧行さる筈である一面には慶南唯一の富豪金琪邰氏が金三十萬圓を投じ製絲工場を建設に着手する限定である尚此の外種々本年中に於て晉州に放さるゝ資金は決して少額にあらず現在判然せる額にても四十餘萬圓に達するのである故に本年の晉州市民の活躍は期して待つべきである（晉州）

◇平壤◇

舊臘十二月中に於ける平壤經濟狀況を聞くに一般商況は依然として好況を持續し諸雜貨賣行良好にして米穀取引は鐵道の貨車配給難の爲め滯貨維持し剩へ大同江も已に結氷し水運亦杜絶せるを以て大口筋孰れも買附中止の狀態にて先月來活氣旺盛せる米穀市場も中旬に至りて俄に寂寥を呈し米價漸次下落の趨勢を示せり然れども年末決濟季のことゝて小口の取引は多少の增加を見たりき、米價の下落に伴ひ一般雜穀は安價を唱へ出廻り月初めに比すれば激減の狀態なり、市況斯の如くなるを以て米穀買入資金としては增加を見ざりしも年末決濟季のことゝて貸出は相當の膨脹を來し前年同期に比し百十二萬圓餘の增加を見たり

昨年末に於ける平壤銀行貸出金合計は四百八十九萬二千四百六十三圓にして預金は合計二百八十六萬九千二百五十三圓なり、外に東拓の貸出金は七十六萬二千三百七十八圓を示せり、地金銀の出廻は依然として振はず本月の取入高は僅かに五百六十六匁一千九百五十二圓にして頗る閑散裡に越年したり

牛と豚と魚
魚價の暴騰と獸數

昨秋來諸物價の奔騰に伴ひ鮮魚の見騰著しく殊に舊臘十二月に於ては釜山近海の不漁なりしと内地相場高値を叫べる結果平壤市場への出廻り漸く市價更に暴騰せるに提て加へて正月を控へしこと、て相場は突飛高を示し尚つゝ日品漸を買せし程の狀態なるが之れに反し此の代用品とし獸肉類の賣行頗る良好を呈め前年牛皮價騰昔の場合より一層屠獸數の激增を示すに至れり

今十二月中平壤府の屠獸數を見るに内地人側は牡牛[illegible]九十九頭十八頭鮮人側は牡牛二百四十頭[illegible]北牝牛二百二三頭二千百六十八圓大二販六百七十四頭六千八百六十五圓大二十四頭六十五頭の多きに達し此前年同期に[illegible]非常の增加を表し居れり昨年は内人側牝牛八十五頭七千五十九頭鮮人側牝一百九十四頭二萬四千五百九十頭牝販五百頭四千三百五十九頭大十八頭十七頭等なり要するに平壤府民が二月中に食せし獸類は販牛大合して一千二百三十九頭の多數に上り居れりと（平壤）

奉天の水斷
◆機械の破損せし爲め

從來水道に故障を生ぜず市民は斷水の苦痛を知らざりし奉天水道は去る七日より區々斷水し今に復舊せず市民の迷惑一と通りにあらず殊に水道中の破損箇所今尚ほ不明の由なれば何時復舊するやも計られず八日の如きは夜に入りて漸く得たる補助機械を使用して若干の配水を行ひ補助機械も又九日朝に至りて破損したれば目下之れが修理に着手中にて此れが爲め機關車の如きは一時燃家屯の給水の爲めに運轉するなどの騒ぎありしも幸ひ發電所用井戸に筒を据ゑ試驗的に吸水を行ひたる結果成績良好なりしを以て目下該方法によりて供水しつゝある有樣なり兎に角斷水の苦き經驗を有せざる奉天の市民の困惑は想像の外にあり（奉天）

平壤の繰綿業

鐵道の繰綿業務擴張と共に工場其他一般設備を擴大し更に平壤に分工場を設置せしが鎭南浦西鮮繰綿工場の操業開始は昨年に比し非常に遅延せしが這は原綿高に伴ひし同工場が多少買入手控へを爲したるに起因せるが愈々近日中より南浦平壤兩工場共に操業を開始する運びとなり居れるが本年は目下同工場より支那棉輸入免稅申請中なれば此が結果に依りては休業を見ず大々的に著手すべき計畫なりと（平壤）

平壤酒造組合

平壤に於ける朝鮮燒酎釀造者は總計百四十四名にて今回平壤府廳に於て此等釀造者間に組合の組織を勸告したる結果内有力なる釀造家のみにて組合を組織することゝなり其數五十三名に達したるを以て事務所を平壤府貫仙里七十八番地に設置し左の役員を推薦したり
（組合長）田中周助（副組合長）宋在煥（評議員）富西時藏、江崎德八、朴錫洪、李元瓊、朴泳、成正運、劉明汝

鮮人と不義

福岡市外生れ某の妹齋本ゆきゐ（二九）と云ふ女は京城三角町とかに住む大工職高村築人（三〇）の内縁の妻で一箇月程前京城へ來たのである、所が兎角夫婦仲睦じからず十二月二十二日頃にゆきゐは家出をなし元山の知己を頼つて行つたが去る三日夫の築さんから呼戻され京城へ歸らうとする途中汽車の中で平壤順興里の委託販賣業金漢鉉（三三）と云ふ高麗鮮人と話が合ひ遂に其儘平壤に落延びて某旅館に滯在して不義の契を結んだのであるがユキヱは既に金漢鉉といふ新しい亭主ができたので大工の築さんに對して離緣状を送れと通知した處が築さんは烈火の如く怒り知人の松山某といふ者と共に平壤に來りユキヱを押へる一方金漢鉉に對し嚴重な談判を開始してゐるさうだが何れ納まりは其筋の御厄介になるであらうと（平壤）

正金取付の後報
七日で止んだ…總額十九萬元
上海も天津も……背後に某々國人

既電の如く新年匆々北京の正金銀行支店にて取附に遭ひたるが是より先上海の同支店にて大晦日に至り突然取付に遭ひたりとの報に接したる所果して三箇日の休業後四日朝開門に先立ち

◇三百餘名　の取付者銀行門前に押し寄せたれば固より覺悟の上の事とて苦もなく兌換を開始し四日午後四時までに約十五萬元を兌換したり而して五日は既に下火となりて三萬元六日は約一萬元を兌換し七日に至り

◇全く終熄　せしが此の總額十九萬元に達したるが兌換の請求者は多く下層民にして一人僅に五元乃至十元位の小額に止り中流以上の者は殆ど見受けず又

◇天津　の正金支店も同樣取付に遭ひたるも三日間にして止みたる由是れが原因としては目下調査中なるが昨年六月に於る取付は獨逸人の暗中飛躍に基づく妨害運動にして此際は種々

◇中傷　を逞しうせる印刷物を頒布せるものなるが今回の取付は目下上海の正金支店にて取調中なるが道路傳ふる所によれば某々國商人等が日本の資金が支那金融界に深く喰込みたるを怨み之れが

◇妨害　をなしアワ好くば一時的なりとも自身の勢力を支那財界に挿はんとする魂膽に非ずやと云へり（北京）

棉花密賣買の不正商人取締
慶南道廳に於て

地棉凶作の結果本年度作田別の種子すら憂慮さるゝ折柄慶南にては各郡に密賣者續出し他道に移出する傾向あり道廳にては密賣者を嚴重に取締りつゝありしが過般該鮮棉栽培會社の從業の工場と契約し密賣に從事せし不正商人二十餘名に及びしを發見し直ちに晉州郡廳にては買收棉を時價にて晉州工場に讓渡すべく命ずると共に晉州郡内朝鮮棉栽培會社の買收區域たる那城面外四面を買收停止命令を發し處分方法を道廳と打合せ中なるが未だ決定を見るに至らざれど道廳にては斷乎たる處分をなす由（晉州）

地方には斯んな不しだらな郵便所が
ある…電報の發信を怠る
一年近くも所長が不在

[illegible]郵便所長は病と[illegible]一年近くも不在で事務は總て所員委せである其結果通信事務に故障の絶間なく市民は郵便所を信頼せず遂くは本局に用務を辨する狀態である一例は某氏が出立に際し電報を發せしに所員は發信せず打捨置き歸宅し三日後に漸く發信せしが如き奇怪なる事件あり他は枚擧するに遑あらざる狀態にて公衆に對する不親切亦實に言語に絶し内鮮人等しく所内の改革を希望しつゝある（晉州）

平壤の鑄掛松

其昔お江戸は南貳橋の眞中から鑄掛の道具を川へ放り込んで泥棒に宗旨を替へたる鑄掛松の流儀とは邪變はれど福岡縣生れ當時住所不定の鑄掛職上原松太郎（三五）といふは去月三十一日晩町居住末光今朝吉方より餅米一斗（三圓六十錢）を騙取せし外東亞分工場附近内地人某方より鑄掛物の修理とて預りし鍋釜バケツ等を其儘橫領せし廉に依り平壤署に引致され他に餘罪ある見込みにて取調中（平壤）

◎新年宴（沃溝）　全北沃溝郡内官民有力者發起となり郡内官民意志の疏通を圖るに爲新年宴會を開催することゝなり十一日午後六時より群山料亭花月に於て盛大なる張宴ありたりと

讀者文藝（募集）

(種類)	(題)	(〆切)
▼小品文▲	『冬』十行以内	十日
「俳・詩▲	『歳暮』	十五日
▼なぞ▲	朝鮮とかけて	二十日
▲一口噺▲	時事に關すること	廿五日
▲物は付▲	『面白いものは』	三十日

賞　一等（一人）一圓の書籍券　秀逸（二名）五十錢同上

オトギバナシ
子鵲と都
八島柳堂

鵲の居る村に親子二匹の鵲が居ました。

ある日、子供の鵲はポプラの枯枝にとまつて涯のない紺碧色の空を眺めてゐると、其處へ一羽のお友達の鵲が飛んで來て、

『やあ今日は、君何をそんなに眺めて居るの、お天こう樣つていよいよ見給へ、それは〳〵お天こう樣を眺めて居たつて何にも落つこちて來やしないよ、そんな暇があつたら都へ行つて見給へ、それは〳〵都は美しい〳〵處だよ、電燈と云つてねこんな田舍では見られないものがあるよ、夜になると其電燈が都一ぱいに點つて恰で晝の樣だよ、さうして面白い芝居だの活動寫眞だのが幾等もある、君、君も行くならあの電線について行つて見給へ乾度都へ行けるよ、僕も見たいから美しい都へ行くのだ、左樣なら御機嫌よう……』お友達の鵲は斯う云つて飛去つて了ひました

子供の鵲はお友達の鵲から都の美しい事を聞いて何だか都と云ふ處が、なつかしくなつて俄に行つて見度なつて來ました。

ある日子供の鵲は親鵲にむかつて、

『お母さん、僕、都へ行き度いと思ひます、暫時お暇を下さい』とお願ひしますと親の鵲は、

『いや〳〵都と云ふ處は美しいが恐ろしい者の澤山居る處だよ、お前も都に出ると乾度その恐ろしい者のお仲間入りをする樣になるからお止しなさい』と云つて許して吳れませんでした。

子供の鵲はもう此上は仕方がないと思つたので親の鵲には内所で京城と云ふ都へこう〳〵出掛けました。それから何日かの後子供の鵲は都の京城へ著いて南山と云ふ山の松の枝にとまつて賑やかな市中を見下して『成程』と感心して居る内に段々お腹が空いて來た事に氣がつきました。

『やあ、お腹が空いて來た、何か食べるものはないかしら……キャキャキャ……』と云つて街の方へ飛んで行つて一生懸命餌を漁つて見ましたが田舍と違つて却々見付かりませんでした。

『これはいけない、今一息探して見ようキャキャキャ……』しかし餌は何うしても見付かりませんでした。

『あゝお腹が空いたな……』子供の鵲は斯う云つて思案に暮てゐると其處へ一羽の大きい鵲が飛んで來て、

『この田舍者奴、何をグヅ〳〵してゐるのだ其那處に餌はないよ』と云つて何處かへ飛んで行つて終ひました、子供の鵲は

『あゝつまらない、つまらない、お母さんの仰しやつた通り都は恐ろしい處だ、もう嫌になつた、さあ歸りませう』と氣の著いた時は子供の鵲の白い腹の毛は煤煙の煤で眞黑に汚れて烏の樣になつてゐました。

それから幾日かして子供の鵲はやつと元の村へ歸り著いて『お母さま只今歸りました』と挨拶しますと親の鵲は變な顔をして

『お前さんの樣な眞黑な子は持つた事がない、尤も私にもお前さん位の一人の子供が居たが親の言付けを聞かないで都と云ふ恐ろしい處へ行つて了つた、今頃は定めし難儀をして居る事でしよう……』と涙を零しながら申しました、子供の鵲は

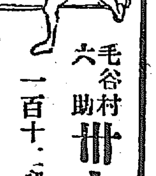
『お母さん、それが僕です、もう決してお母さんの言附をそむきませんから、どうか許して下さい』と云つて泣きました。

それから後は親子仲よく暮しましたとさ。めでたし〳〵。

京城日報主催
冰上滑走大會
會場漢江人道橋下、期日詳細追而發表

氣象豫報
(六時)
▽氣壓の配置△
(氣壓)(位置)(示度)
高氣壓　滿洲支那北部　七六六
低氣壓　日本海九州南部

(きのとうし)年
二百十日　九月一日　[illegible]
彼岸　三月十九日　九月廿一日
社日　三月十七日　九月廿三日



卅六番角力
毛谷村六助　一百十一席
桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

…郎并新十郎は大津を出立いたしましたが、近江典膳が郎井に代つて武藝の教授をいたし、多くの門弟を執り立て居りました、スルト茲に松永の浪人西波平九郎弟平助此の兄弟が五人の弟子を打伴れて諸國を武術修行と云つて廻り居りますが、其の實は道場荒しでござい到る處で賭試合をして金を取り、又は看板なぞを外して持つて行く、是が大評判になつて居ります、西波兄弟大津の宿へ入つて參りまして近江典膳の道場へ見て　平『頼む』○『ドーレ』と若侍は其處へ出て參り　○『何れからお越しになりましたか』平『近江先生は御在宅か拙者は一刀流の劍術を以て諸國遍歴いたす西波平九郎と申す者でござるが、先生と一手お立合を願ひたい』○『只今取次ぎますから暫く御控へ下さいませ』と奥へ參つて　○『先生大變です、[illegible]西波平九郎と云ふ者が五六人の者を伴れて參り先生と他流試合を致したいと申して參りましたが』典『左樣か』○『見るから大府强さうな人物でございます』典『俺が居ると云つたのか』○『ヘエ』典『イヤそれでは斷るな、此方へ通しなさい』○『畏まりました』と再び玄關へ出て參り　○『左樣なれば何うぞ此方へお通り下さい』　西波平九郎は平助を始め五人の門弟を伴れて悠々と奥へ通り一間の内に控へてゐる處へ近江典膳出て參り　典『是は〳〵、能うこそお訪ね下さつた、手前當道場の主近江典膳にござる』平『イヤ始めて御意を得ます、西波平九郎と申す者、以後お見知り置かれます樣』平『只今御門人まで申入れましたが、一手お手合せを願ひ度うござる』典『お望みとござればお相手をいたします』と、双方挨拶が終つて直に道場へ通しますると近江典膳の道場には居合せたる門人共心配をして○『此の西波といふ奴は諸方の道場を荒して歩くといふ、宜くない奴だ』△『何うも無事には濟むまい』○『何か終ひに難題を云ひかけるに違ひない』○『然し腕前は却々優れて居ると云ふことだが、何うか先生に勝たせたいものだ』と云つて居りますと内に第一の弟子の平助が其處へ立出で　平助『イザ拙者がお相手をいたすによつて何誰でも宜しいからお出なさい』典『コレ中村』中『ハイ』典『貴公出てお相手をいたせ』中村清之助は臆しなく支度をしてそれに立對ひ　清『手前は中村清之助と申す未熟者お手柔かに願ひます』平助『それは御同樣だ、イザ參らつしやい』と袋竹刀を取つて大上段に振冠つた、中村は晴眼に構へて暫し睨み合つて居りましたが、素より腕前が違ひますので平助は一聲叫んで『お面』と打下した中村は心得たりと受けとめたが、力が足りません故受けながらにして面上を打たれ　清『參りました』と引退る入れ代つて小島鄕藏といふ者が立合つたが、是も手もなく打据ゑられてしまつた、近江典膳は是を見て居たが、此の兄弟は却々出來ると思つて　典『門弟衆、お身方が出る處でない、迚もお相手は出來ない、此の上は拙者が出てお相手をいたさう』典膳は十分に身支度をいたし、選びなれたる袋竹刀を取つて立出で　典『此の上は典膳がお相手をいたす、平助』平『何うぞ御遠慮なく隙があつたらお打ち下さい』と平助は持つたる竹刀を取直して晴眼に構へる、典膳も同じく晴眼に構へ睨み合つて居りました、平助も强かうが、又典膳は一段上でございます、内に双方竹刀を打下して二三合打合つて居りましたが、典『お胴』と云つて横に拂つた一本、受け損じて平助は脇腹を打たれて參つたと引退りました、

新廢物利用法
主婦の心得

◆古い下駄◆　手入の仕樣もないほど古くなつた下駄でも漬物樽や醬油樽のやうなものゝ底に使ふと重寶ですそして最後には割つて風呂の焚きものに使へます

◆古筆の軸の利用◆　古筆の軸で相當の使ひ途のあるもので適宜に切つて釘にかぶせて打てば衣類や手拭などをかけたときに錆のつく心配がありません

◆菓子折の利用◆　紙で作つた菓子折ならば蓋や底をはなして小包などの當て板として結構です、木製のものならば、そのまゝにして捨いて、ちよつとした小布や香類などを整理しておくのに重寶なものであります

◆古名刺の利用◆　使用濟の古い名刺は心覺えを記しておいたり、または學生の暗記練習のカードとして重寶です

◆蜜柑籠の利用◆　編み目の粗い蜜柑籠は、あのまゝでは一寸利用の途もありませんが、裏表から紙を張ると一寸した紙屑籠となります、若し彩色した雜誌の口繪を上から張り、廢物のリボンで縫でも作らうものなら、それこそ見違へるほど立派なものができます

◆カレンダーの利用◆　カレンダーの日附の餘白に必要な用件を記しておくと大層便利であります例へば稅金の納附日銀行の掛込日なぞ記しておくとよろしいです

一月十三日
（月曜）（舊十二月十二日）▲二黑▲[illegible]ひつじ　きのとうし▲大安▲　たつ▲なし▲危

▼二黑▲意氣込みの足らぬ日なり
▼三碧▲世話の甲斐なき日なり
▼四綠▲慎んで暮らすべき日なり
▼五黃▲親しみのある花の如き日　起業移轉婚姻金件旅行其他一切吉
▼六白▲思ひ掛けぬことにて福を授かるべき日何ごとに用ゐても吉
▼七赤▲實もあり花もある日なり　起業移轉縁談金談旅行其他凡て吉
▼八白▲親しき人懐かしき日なり
▼九紫▲纏まりの好き日也或は何うかすると思はざる幸福を得べし
▼一白▲はき〳〵せざる日舊事吉

汽車

京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北) 同(南行) 京仁線(仁川行) 京元線(北行) 同(南行)

[illegible]

謹賀新年

謹告

振古未曾有の大戰亂も、昨秋漸く休戰條約の締結と相成、講和の期も遠からざる時日にこれあるべく被存候、正義の勝利を意味する平和第一の新春は、實に五年振を以て到來せる次第にて、欣喜同慶これに過ぐるものなかるべく候、

願ふに這般の大戰役は、世界各邦悉く影響を免れざる所なく、我邦に於ても亦著しく國富の增進、商工業の發展等、至極好影響を及し候へども、各種原料の輸入杜絶或は拂底及び諸物資勞銀等の奔騰は、各製造家に對して甚大の打擊苦痛と相成候も、而も辛苦漸く苦境を脫出し得るの曙光を認め申候、

小店又この未曾有の試練に遭逢し候も、幸に江湖諸彥の絕大なる御愛顧を以て、業務逐日隆昌を告げ、

ミツワ石鹼各種　ミツワ椿油
ミツワ家庭藥　肝油ドロップス
ミツワ規那鐵葡萄酒　ミツワ人參葡萄酒
ミツワ雪の雫　ミツワ月の雫
ミツワ花の雫　三百番香水

其他の、發賣品各種、等しく優良の品質を具備し、拔群の特徵を有せることは、販額の增大を呈し、供給之に伴はざる盛況は、常に感謝の至りに絕へざる所に御座候、蓋し戰亂の終熄は一層の奮起を要し候は申迄も無き儀に有之、

殊に本年**向島新工場**の增設と共に、**ミツワ化學研究所**及**小店營業部**及**試驗部**一同益々發奮仕り、製造に販賣に改善向上を計り江湖諸彥の御愛顧に報ゆると共に、邦家の進展隆昌に幾分の貢獻を所期仕度候、茲に平和第一の新春を祝すると共に、江湖諸彥の萬福を祈り併せて倍舊の御愛顧を懇願仕度右御挨拶申述候　敬具

大正八年元旦

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
人參葡萄酒
規那鐵葡萄酒
ミツワ椿油
御園化粧品
發賣元

東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
登錄商號 **丸見屋商店**
營業部電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇
電信略號〇ミヤ 振替貯金口座東京七一〇番

京城日報

第五版

本紙定價　壹部參錢　壹箇月七十五錢　▲郵稅共　六箇月四圓五十錢　▲壹箇年八圓
廣告料　五號活字一行一圓五十錢　▲特別一行二圓
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯局　六九番　營業部　三六番

戰後の努力

▲戰時事業の旺盛　歐洲の大戰も終に終熄し今や平和過渡期の中に新年を迎ふるに至りしが顧みれば既往五箇年に亘る此大戰が我經濟界に及ぼせる影響は至大にして商業に運輸に農工業に悉く隆榮を呈せざるなし之を工業會社に見るに開戰の翌年たる大正四年より同七年十一月までの間に會社の新設されたるもの八千餘其公稱資本金額十五億八千萬圓に及び既設會社の擴張亦盛んにして其增資金額五億五千萬圓を算し同期中に減資解散せられたるものを除くも新設及び擴張資本の總額は實に二十億圓の巨額に上れり(單位百萬圓)

	新設	擴張	解散	減資	差引增加
會社數	八,〇五四	七三三	四四五	一〇三	七,六〇九
公稱資本金	一,五八九	五五七	一三三	一五	二,〇〇〇

而して農商務省の調査に依る大正三年末に於ける全國工業會社の總數は五千二百六十六、公稱資本金八億三千三百餘萬圓なるを以て最近四箇年間に於ける工業會社の增加は社數に於て十四割餘の增加に當れり曾て日露の役後明治三十七八年下半より同四十一年上半に亘り企業大いに隆興し其種會社の避設を見るに至りし際も三箇年間に於ける工業會社の新設及び擴張資本の總額は八億九千萬圓許りにして最近四ヶ年の夫れに比すれば二分の一にも達せざるなり

▲工業の發達　斯く工業界の大飛躍を演ぜし原因は茲に說する迄もなく戰爭の爲め世界主要の生產地たる歐洲諸國の生產減少せるに由り其需要は却つて激增せしと配給の途絕えしにて需給の權衡全く破れて物資の缺乏、物價の奔騰となり物資乏しき諸國の補充を我國に求むること甚だ急なりしと同時に內國の需要亦急增し諸業の收益益激進せるに因るものなり左れば諸業の新設擴張盛んなりし中にも其最も旺盛なりしは概ね歐洲工業の特色とせる染織及び精錬、化學、機械及び造船の諸工業に屬するものにして從來我工業界に於て常に歐洲品の壓迫を受け發達の機に接するを得ざりし冶金、染料、藥品等の諸業も端なく戰時に際し發達の好機に會するを得たるものにして洵に悅ぶべきの事象なりとす

戰時中の會社新設及擴張工事數(減資及び解散の分を控除す)

▲染織工業二九一▲化學工業四六一▲機械及造船工業三三五▲飲食物工業一〇八▲雜工業八一▲電氣業一一〇▲瓦斯業〇八▲石油業二六▲採礦及精錬業六〇四▲合計二、〇〇九

▲事業家の責務　然るに休戰と共に世界經濟界の形勢は轉換して生產配給は漸次其常態に向つて歸着し、需要供給の大原則は再び其權威を回復し來らんとし一般生產品の優劣、價格の貴賤により市場の嚴格なる選擇淘汰を被らざるべからざると共に國際市場に於ける自由競爭に從はざるべからざるに至れり故に戰時中多大の利を獲たる我國の諸業は總て著しき減收を見ると同時に各々其の經營を大いに集約的ならしむるを要せん、戰時中に於ける我事業界の發展は其の基礎比較的堅實にして日露役後に於ける膨脹の比にあらざるべしと雖も戰前既設の事業又は戰時新設のものにても幾く收益激進の時に於て早く戰後の準備を怠らざりしものは別として時局の急轉に遭ひて此際難境に立てる者尠しとせざるべし且つ我財界戰販の主因が對外貿易關係に在りて海外の要急需の爲に促進せられたるの結果我生產運輸其の他の施設は內國の需要に對しては供給過多たるを免れざるが故に工業の維持發達は輸出貿易の振興に待たざるを得ず而も今や戰後の過渡期に入りて國際經濟關係は漸く多事なるべきを以て事業界の地位は愈困難なるものあらんとす、我事業家の深く戰時に發達せる諸事業の美を完うせんことを切望してやまざるなり(某經濟家談)

通信雜話(上)

▲英國の捕虜宛小包郵便物　今次の歐洲大戰爭にては大劇戰の回數少からざりし爲め後方に勤務せる從軍郵便吏員の捕虜となりしもの少からず英軍のみにても郵便吏員にして捕虜となりしもの戰役開始以來合計一千四百廿五人を算すとのことなり英國郵便官署員より捕虜となりし郵便吏員に送付せる小包郵便物は頗る多數なりしも其收容品は重なるもの左の如しと

▲ビスケット▲ベーコン▲ハム▲鑵詰となせしスープ▲コーンドビーフ▲茶▲砂糖▲米▲各種肉類▲野菜類

等の食料品にして捕虜となりし兵士其他郵便吏員等が食料品入の小包郵便物の到着を最も大なる娛樂の一となせるを知ると共に獨逸國內には食料品の欠乏せる事を知るに足るべし

▲從軍者と安全剃刀　從軍者の多くは菓子其他の食料品の到來を非常に歡迎せるが英傭兵の如きは安全剃刀を其必要品となすを以て英國の各郵便官署にては從軍者へ宛て送用として一般公衆より安全剃刀の寄贈を募集をなしたりしが其應募し得たる剃刀の數は古きもののみにても其數十萬七千五百餘個に達したりと云ふ平時に於ては英軍人は荷も人にあらざる限り常に剃刀を使用するの習慣あるを以て從軍中にても猶安全剃刀を使用せざるときは甚だ不快を感ずるとのことなり

▲少女集配人　英國にては古きより電報の配達等には少年集配人を使役しつゝありしが今回の戰役中には少女の集配人をも採用することゝなり而も其成績頗る良好にして少年集配人と異なる所なしと云ふ併し少女のことゝて往々無邪氣なる喧嘩等之れなきにあらず其一例を擧ぐれば洗面室にて二人の少女の爭ひあり其主管課長之れを取調べしに、甲の少女『喧嘩は私より始めました私は最初に水をエスさんに掛けました、そしてエスさんは又私に水を掛けましたので喧嘩になりました今後は注意しますから御免し下さい』乙の少女『私は洗面室で髮を洗つて居りましたが不意にエッチさんは私の顏に水を掛けましたから私もエッチさんに水を掛まして喧嘩となりました私は忍耐して居れば宜ろしう御座いましたのに喧嘩しましたのは誠に濟みません今後注意しますから御免下さい』此兩少女の爭ひたるや實に英國的にして喧嘩しながらも敢て相手方を非難せず眞實を吐露せる大いに感ずべき點なしとせず斯の如く無邪氣なる事實に對しては八釜敷屋の課長も小言を述ぶる程のことこれなかるべし(某遞信管理課員談)

財界の新舊人(一)

久保要藏君(上)

西海生

一千餘哩の朝鮮鐵道を管理し、一萬の從事員を統率する滿鐵の京城管理局長は可なり困難な地位である、去年の夏、總督府と滿鐵との間に朝鮮鐵道經營委任上の契約改正があり、結局滿鐵京管局長の專決事項は之れを一昨年八月の併鐵當時に比せんか、可なりの擴張を見たけれど、尙は政策に關する重要な問題は總督府の承認を受け、更に大連滿鐵本社の同意を經なければならぬ、乃ち京城管理局長は總督府並に滿鐵本社と云ふ兩輪に支られた車のやうなものであるその進退は必ず兩輪と併行せなければならぬ、若しその片輪に油が切れるとか、車軸に故障を生ずるとかすれば、車の進退を自由になし得ざる如く京城管理局長も亦自由に往き還りもならぬ譯である

▲或は帝國の大陸對策上有利なりとして鮮鐵の經營を滿鐵に委託する事となつた以上、屋上屋を架す如き總督府鐵道局の指揮監督は不必要でないかとの議論も一部にはなきに非ざるやうだ、此の議論は總督府の鮮鐵を如何なる形式方法かにより滿鐵に讓り渡す事にしたものならば、素より正當であり又さうなければなるまい、然し乍ら朝鮮鐵道の所有權は依然として總督府にあり、而して新線の建設も大規模な改良工事も實際の仕事は京城管理局でやるけれど、經費は總督府の世帶から出る事となつて居り更に殖民地の拓殖開發はその血脈とも云ふべき鐵道の政策に左右せらるゝ事少からざる以上、鮮鐵經營の當局たる滿鐵京管局長は、兩頭をその上に戴く關係より施設進步上に若干の面倒と煩累を伴ふも、現行の如き總督府の監督制度を存置する事は蓋し止むを得ないであらう

▲此の難局に立つて一向難局に立つたらしい面を見せず、事に當つては裁斷縱橫、些の澁滯する所なく常にニコ〱然として各方面に應酬し、極めて平和に、極めて愉快さうに又極めて好評の裡に、鮮鐵經營の主腦者として事を運んで行く局長の滿鐵理事久保要藏君は京城財界に於ける一方の大立者たるを失はぬ、君はその前額が禿上がり、顏面の相好一見頗る圓く見ゆる如く、その外に對するや常に諸事圓滿主義を以て臨んでゐるらしい、或はその圓滿主義が多少踰み越ねて、君の如き地位の人としては少しく頭が低すぎる、少しく言葉が叮嚀すぎる、あれでは君と相對して何となく啻こそばゆい氣がするなどと云つてる人もある父公平に見て君は『實稔頭を垂る稻穗かな』を少しく行き過ぎてゐる觀はある、殊に前鐵道局長官大屋權平博士が殆ど鮮鐵に於ける羅馬法王然と構へてゐた態度に對照し、その變化が極端より極端に走れる所より以上の感を禁じ得ないものが多いやうだ

…度よりは各海兵團に於て有特操兵の普通科の教育を施す事としたるものにして此結果海兵團に是が標…を行ひ居たるより陸上に…立すべしとの…

…加へられ居り右經費は八年度豫算に…要求せられざりしも潜水艇學校…設置の議は具體的に進捗しつゝあ…

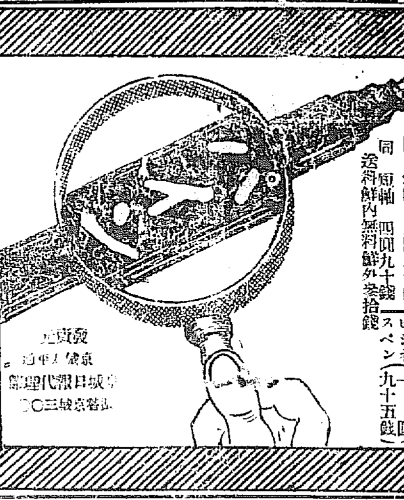
…如きもコルチャック執政官は目下イルクーツクに在るウォルコフをして係へしめたるセ將軍の革職討…於ては稍行き惱みの姿なりと云ふ

◎戰時海保成績

…四百八十二回、再保險料四十三萬九千九百六十七圓を算したるが此內十五件一千七百七十六萬五百七十…に就きて見れば再保險件數に於て十五萬六千八十二回にして再保險料十萬五千三百八件、金額に於て十萬四千九百四十二件、保險金額二十三億一千八百七十四…十八億三千五百五十三萬二千八百…百三十九圓此再保險料三千八百五十二萬二千二百四十九圓に達した、總じて十二月下旬中に支出した…込なりと(東京電)

撫順炭　山下製コークス

京城府黃金町通十三　特約販賣　寶榮商會　電話一〇七番



金ペンのスラ〱走る心地よく氣持よく體裁の良いパイン萬年筆

最新形出　六圓八十錢
同　金飾　八圓八十錢
同　短軸　四圓九十錢
實用向三圓八十錢
學生號一圓八十錢
ビジネスペン(一圓九十五錢)
送料鮮內無料鮮外參拾錢

發賣元　東京　日本橋　京城代理部　京城日報代理部　振替京城三〇〇

各時計卸商　蓄音器

明治二十八年創立　貴金屬製作卸所

TRADE MARK K

京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電一〇一五・振替京城七八二

◎◎◎◎反撥遠からず

戰後我國經濟狀態は株式市場に及ぼす何等大なる悲觀材料なきにも不係新春初會以來大株は定保に於て十四、二十、五圓六圓其他指し高に達り叩かれたるに別に材料に瞬け其は一面相場と云はんよりは寧ろ仕手關係の嫌ひにて市場は悉く暗鬼を生し風聲鶴唳にも發落を…

◎◎◎有望なる朝鮮紡織株

久しく其價格の變動を見ざりし同株も愈々總督府本年度豫算に補給金上せられたるは十七、八圓より…を計上したる以上は…

時價十四圓內外(十二圓五十錢拂込)

公債株式現物問屋

京城櫻井町一丁目　新田耕市商店　電話五七〇・一八八一番

有力なる吳服店の後援の許に合資組織に改めたる

京屋染物店

京城本町貳丁目八六番地
電話長一四〇一番
振替京城五一九九番

近く信用ある外交員を全鮮各地へ御用伺ひに派遣仕べく候

第七十一回勸業債券(拾圓券)賣出

總額　壹千萬圓　利子年四分(每年四月拂)
賣出　一月十五日より二十八日まで
當銀行及當行大阪支店、各地代理店、取扱店並に各地郵便局にて賣出す
當銀行より直接郵送の場合は通數の多少に不拘郵送料金拾錢也を申受く
くじびき　初回は本年二月三回目迄割增金總當り最初參箇年間は年二回三、七、十一月其後は年二回

割增金

等級	金額	自第一回至第三回 每回	四回目以後每回
壹等	貳千圓	貳拾本	拾本
二等	百圓	五百本	五十本
三等	拾圓	八百本	四百六十本
四等	五圓	千六百八十本	九百八十本
計		三千本 十萬六千四百圓	一千五百本 參萬四千五百圓

大正八年一月

東京市麴町區
日本勸業銀行
(振替貯金口座東京第四番)

一本目　ほまれ味噌

龍

日本醬油株式會社京城出張所　電話長二四五番

皮膚の荒れを防ぐ

化粧水　御園四季の花
白粉下　御園クレーム

◇美しくて上品な化粧の秘訣

今が一番皮膚の荒れ易い時です。皮膚が荒ては決して美しい御化粧が出來ません、朝夕の洗面後、入浴後に化粧水……御園四季の花を顏から手先にお塗になつて置きますと、決して皮膚の荒れる事がなく、何時も艶々とした美しさを保ち白粉が美しく着ます。

◇必ず美しい御化粧が出來る

尙一層皮膚を整へ、美しい御化粧をなさる樣になさるには、御化粧する前に白粉下御園クレームの極く少量を掌に受けよく煉る樣にして襟と顏に擦り込みますと、肌理が細かく滑かになり御園白粉の着も際立つてよく、容易く美しい御化粧が出來ます。

(568)

伊東胡蝶園　本舖
丸見屋商店　發賣元

◇日米共同管理か
西伯利鐵道問題諒解

西伯利鐵道管理問題は日米兩國間の諒解成立せるを以て外務省は近く顛末を發表す可く共同管理委員長は米人にて米國大使ローランド、エス、モーリス氏は近く右の用件を以て西伯利に赴く可しと(東京特電)

◇米軍伯林占領か
政府軍の對戰=取引所の閉鎖

聯合軍はエベルトの要求に依り伯林を占領す可しとの風說あり又聯合國大使館を甚く破損せしめたる米國兵は伯林を占領するに至る可し伯林住民の多數は米國兵の占領を歡迎する狀態なり今や戰鬪は米國大使館及びレオポル宮前に集中し政府は明かに機關銃砲隊附き砲兵を以て對戰せしめ居り首相護衛兵は激戰を行はんとしつゝあり尙伯林取引所は閉鎖せられたり(倫敦電報)

◇革命運動波及
獨逸の各地に騷亂勃發せん

伯林來電=スパルタカス團の革命運動は獨逸全體に波及し各地に革命騷動勃發の兆あり之が爲め諸工場は總て休止し居れり(アムステルダム電報)

◇獨逸首相宣言書

伯林來電=首相エベルトは宣言書を發して曰くリープクネヒトは非社會黨主義者に對し戰爭を起し彼等を居らんとす民衆は永く躊躇したり今や此危機に際し國家防禦の爲義勇兵を組織す可しと(アムステルダム電報)

◇エベルト政府顚覆說

エベルト政府は顚覆せりと傳へらる(倫敦電報)

◇四國協議會延期

木曜日(十六日)開かる可き筈なりし日英米佛伊の講和打合せ會はロイド、ジョーヂ氏不著の爲め延期されたり(倫敦電報)

◇牧野特使の感謝

牧野男一行は八日紐育出發後米國々務省に無線電話を送り滯米中の厚遇を感謝せり(華盛頓電報)

◇北方對南方要求

北方は南方に對し速かに代表を發表し會議を開かん事を請ひ且つ雙方間の意志疏通に努めん事を述べたり南京にありし北方委員は孰れも同地を去れり(上海特電)

◇對支鹽輸入交涉

日本政府は直隸山東兩省より一億斤の鹽を輸入す可く支那政府と交涉中なり多少の反對ある可きも目下支那は鹽の製產過剩なれば結局何等かの方法により承諾するに至る可しと(北京特電)

◇東伏見宮殿下を召さる
宮中の御賜餐

天皇陛下には十三日正午遣英の東伏見宮依仁親王殿下を宮中に召され御陪食仰付られ英佛米伊各國使臣原首相内田外相波多野宮相其他も御陪食仰付らるゝやに洩れ承はる(東京特電)

□兩陛下御避寒

天皇皇后兩陛下には本月廿七八日頃御同列葉山に御避寒あらせられ紀元節に一旦宮中に還幸更らに御避寒あらせらるゝやに洩れ承はる(東京特電)

◇東三省巡閲使參謀長

九日大總統令を以て[illegible]氏は東三省巡閲使參謀長に任命の旨發表[illegible]

◇バッカーマン氏

紐育タイムス特派員バッカーマ[illegible]の上北京滯在中な[illegible]博士は十二日朝長春より來奉南滿醫學堂にて講演を爲し午後十時發列車にて朝鮮經由歸任の豫定なり(奉天特電)

◯米國前後經濟

米國紐育の國民商業銀行の重役アンダーソン氏は戰後に於ける[illegible]宜しきを得るに於ては恐慌を見ること無くして經濟界を常態に復することを得んと云ふにあり氏曰く物價[illegible]り歸來しつゝある五百萬の兵卒を[illegible]加ふれば二千三百萬以上に上る可し是等の莫大の勞働者並に兵卒が[illegible]せんとし或は勞働組合を承諾する[illegible]て常態に復することを得可し又特に注意す可きは此戰後計畫を完了する爲めには米國が[illegible]の意見を持し其ことを拒み

▲資本家と勞働者との衝[illegible]

▲復舊事業 を援くるを要す由來歐洲人は勤勉なる國民なれ[illegible]

然し之は聯合國が非常の努力をなし多大の犧牲を拂つて甫めて得たる處の結實で財を費やすこと數千億圓人を喪ふこと幾百萬人に及びたるを見ればその如何に高價なるかは驚かざるを得ないと共に陣歿せる幾百萬の生靈に

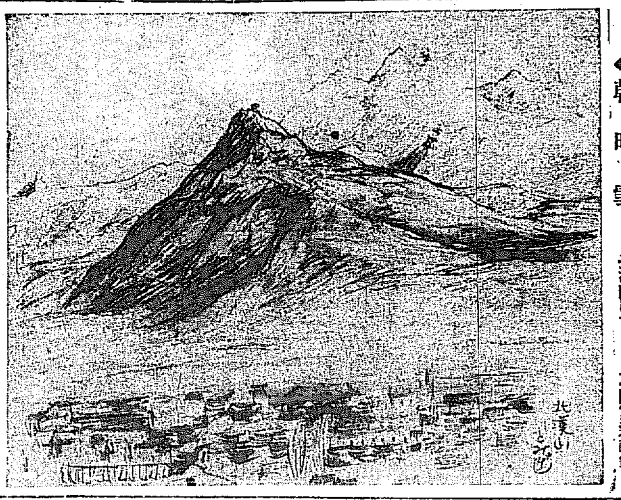
◇無限の感謝 と尊敬とを捧げねばならぬ何れ遠からず講和條件締結せられ正義人道文明の鮮明なる旗幟の下に永久平和の基礎も成立することゝ誰も喜んで居る平和は何人も欲する處で戰爭の慘禍は誰も好まない河川の氾濫は天の未だ雨降らざるに先だつて堤防を高くするとに依りて始めて豫防し得ると同じく戰爭の慘禍を避け幸福なる平和を保つは矢張り軍備の充實に俟たねばならぬことは古今東西普遍の眞理である之れは我七千萬同胞の堅く信じて疑はぬ處である戰後の覺悟とか戰後の海運とか戰後の軍備とか近來の常套語であることは之を證明して餘りあるではないか

▲戰後の海軍 を何うすれば好いかと言ふことが今や盛んに同胞間に論議さるゝことは我海軍々人の最も喜ぶべき事である之れは七千萬同胞が遠く古今の歷史の教ふる處に從ひ近く今次の大戰が何を語るかに鑑みて戰後の海軍を如何にするかを考究するを以て國民の最大義務だと思うて居るからであると自分は信じてゐる敵軍が局地的戰鬪には優勝の地位に立ちながら戰爭の終局の勝利は聯合國の手に握られた其原因の一つは聯合國海軍の海上を牽制し北海を封鎖して敵國への物資輸入を杜絕し敵國をして其國内に於て限られたる軍需品糧食による外なく以て窮乏飢餓に陷らしめ半面には我聯合國が海上を利用して互ひに有無相通じ相倚り相輔け其便宜を得英米兩國が大兵を間斷なく歐洲に

▲大陸に輸送 し得たることは已に諸君周知の通りである然し乍ら若し之れに反し敵艦隊が優勢で海上を制して居たならば英米が彼の大兵を果して佛國に輸送し得たらうか聯合國間又は中立國間の商業取引が行はれ得たであらうか『フオン、スペー』の艦隊や『エムデン』や三四商業破壞艦の活動や潛水艇の無制限擊沈ですら多大の恐慌を來したるに鑑みなば思ひ半に過ぐるものがあらう而も其結果は如何なるだらうか思ひ去り思ひ來らば相當の戰備があつてこそ初めて戰禍を避け平和を保ち得べく其準備充分ならずば萬々一の場合に及むで悔いることなかるべきではないかされば同胞國民は宜しく財政の許す範圍に於て

▲相當の準備 をなし置く事が賢なる手段にて平和の保障は軍備の充實以外に需められ得ざるを思ひ我海軍の施設整頓に努力するの責任ある事を自覺せんことを望むのである否余は已に自覺して居る事は疑はないのである軍備も限りある貢力を以てすることであるりそれが又平和の保障たり得るものであればソレで宜しいのであるが決して侵略的野望を遂ぐる道具に惡用する筈の者でなく又斯かる誤てる考へを持つて居て必要以上に軍備を整へたいと思つて居るものは今日の同胞にはあるまいと信ずる我海軍當局も思ふに此範圍に於て夫々計畫を施設されるだらうし各級軍人は眠勉努力その本職を盡し一旦事あるに當つては千萬人と雖も我行かん的の勇氣をもつて七千萬

▲同胞の期待 に副ふことや勿論であるが國防のとは直接軍人をして之に當らしむるもの元來國民全體の一大職分なることを夢忘れてはならぬ戰前に比すれば物價が物により十倍二十倍或ひはこれ以上に騰貴してゐるとは事實である一部の人々が生活難を訴ふるも無理からぬとであるが其人達が此難局を凌ぐに就て果して最善の方法を執つてゐるか何うか若し口に生活難を高唱しつゝ美衣を著し佳味を飽食することあらば飛んでもないことである又他の一部の人々は同時に收入も增加してゐるとも事實である敵對の利益を配當して居る會社のある事も我々は承知して居るが前者は勿論のこと後者も亦深くこれを遠く慮りて實質を守り以て戰後の準備に備へる事が大切ではあるまいか(某軍事通信)



◆朝晴雪=北漢山にて= 石田富造試筆

◯米海軍卿の聲明に就て
大商戰の前提か

外電に據れば米海軍卿ダニエルス氏は下院海軍委員に對し米國將來の海軍政策の梗概を發表したるが其の第一項に於て『全艦隊は之れを太平洋太西洋沿岸に等分に區分すべし之れ海洋間の競爭を熱心に鼓吹せんが爲なり』と云へり之れに對し某當局者は語つて曰く元來米國は其の艦隊を

▲大西洋艦隊 太平洋艦隊、亞細亞艦隊の三大部に分かち居れるが右聲明に基く兩洋に分置すといふは太平洋艦隊をして今より其の勢力を增加せんといふの意味なるべく而して其の結果は太平洋沿岸の海軍思想を高め以て海軍的敎育を爲さんとするにあるが如し之れ太平洋沿岸の住民は太西洋沿岸に於ける住民よりも海洋に對して依然として冷淡なるが爲めなるべし且つ艦隊の維持に就きても太平洋は太西洋よりも面倒にして困難なり乃ち太西洋にはボストン、ニューヨーク、チョーレス、キングストン等の要港あり如何なる

▲大艦隊をも 維持することを得るも太平洋に於ては僅にブレマートン、メーアアイランド二箇所の軍港のみにて此の外には彼の巴奈馬海峽にバルボアといふ小要港あるも設備は極めて幼稚なり斯る有樣なれば太平洋は到底大艦隊を集中さるゝに於ては其の維持困難なるべし故に此等の點よりして海軍卿は右の如き聲明を爲すに至れるものならん其の聲明の結果は若干の勢力を太平洋に向つて附加するやも知れざるも遽に大勢力の增加さるゝが如きことはこれ無かるべし而も此の擧たるや米國としては當然の措置にして敢て異とするには足らず乃ち將來太平洋に於て米國が

▲大なる仕事 を爲さんと欲せば畢竟大艦隊を太平洋沿岸に置かざるべからず之れ米國にとりては當然のこと謂ふべく而も之れを換言すれば太平洋艦隊の增艦は實に將來太平洋に於て米國が大商戰を開始せんとする前提とも見做すべし(某當局者談=東京電話)

年頭に立ちて (七)
▼金融機關の支流を整理せん
度支部長官代理 和田一郎氏談

年頭に際し朝鮮の金融界を望み見ることゝ其處に幾多の整理改善を必要とする機關の散在してゐる事を認むる、既往の施設に就て稽へて見れば之は

▲金融機關 の本流に就ては大改修工事を施した者とも見得る即ち金融組合令を改正し新に金融組合聯合會等の成るあり更に金融組合の數をも增加し一方では又殖產銀行が設置して產業開發に對する根本的金融機關の設置改善等に就ては大體所信を遂行するを得たのであるが、今年は又支流に屬する金融機關の整理に指を染し見度いと思ふ、それには先づ朝鮮に於ける金融の發達史を硏究して見る必要があるが未だ完全な資料の編纂されたものが無いのは甚だ遺憾とする處であるが そこで予は此の

▲金融史の 編纂も實現させて見度いと思つてゐる、又支流と稱すべきものゝ内には種々の種類のものありて有用なものは益々助長せしむる必要あり、然も有害なものは剪除し或は又有用なものに矯め直さなければならぬ、彼の質屋の如き中流以下の社會には甚だ必要な機關であつて一面より觀れば寧ろ助長せしむる事も必要であるであらうが現在の狀態では却つて利用者をして苦しましむる點が多く弊害のあるものであるから今少し安い金利で多くの金を貸す樣改善しなければならぬことゝ思ふ、既に諸外國に於ても市營公設等の公共施設に於て設置され居るのもあるが將來は斯樣なものが望ましいのである、先年東京市に於ても

▲質屋の市營案 が出來て居たが何かの事情で實現せずに終つてゐる、然し質屋市營の如きは時代の要求する所のものであると思ふ、又債券の賣買の如きものにしても種々の形式に依て行はれてゐるが之も整一し弊害を除かねばならぬ然し内地の如き取締法を設くる事も必要とするや否やは未だ確定した事では無いのである物價の調査の如きも官廳民間其の各の見る處に依つて調査も行はれてゐるが實際に適用な指數を得て居らぬ樣であるから之も極切な調査を行つて國民生活の根本を知ると云ふ事は甚だ緊要な事と信ずるので此方面に就ても適切な施設を講じて見たいと考へてゐる

◯府過年度組合費

京城府に於ける昨年十二月末日現在過年度收入學校組合費徵收狀況を聞くに大正五年同六年度所屬合計調定額四千百七十九圓八十二錢收入額累計一千五百四十一圓二十錢收入未濟額八百九圓三十七錢同人員三百七十二人調定額千圓に對する收入步合三百六十八圓七十三錢の割合なり而して過年度收入未濟額に對しては全部本籍地へ委囑し徵收に努めつゝあるが今所屬年度別に之を示せば左の如し

▲五年分 調定額は百九十三圓[illegible]錢に對する收入額累計百九十四圓十九錢收入未濟額九十三圓四十錢此の人員四十名收入步合三割二分強の成績を示せり

▲六年分 調定額三千五百八十六圓七十五錢に對する收入額累計一千三百八十一圓三錢にして内收入未濟額七百十五圓九十七錢此の人員三百三十二名收入步合三割七分六厘強の成績を示せり

◯地價の漸騰

各道の地價は米價の騰貴に連れ次第に聲を高めつゝあり然も買人あり商人なき模樣にて更にセリ上の模樣なれど慶南上田三百圓臺全北全南の上田二百圓台は隨分低廉に非ず米價亦不調の傾向あるに付地價も目下の所此邊を天井とするものに非ずやとの說有力なる如し

◯東拓移民近況

各道に散布せる東拓移民は多年米安のため苦境にありしが昨年より米價暴騰のため著しくその狀況を革め來たる觀あり大正七年度の如き土地代償金として會社に納入すべき三十四萬圓を殆ど完納し盡したる上從來の滯納十五六萬圓も大部分皆濟し更に十五六萬圓の貯金を生ずるに至りし位なるが會社にても米價高の昨今移民の向上に就て各種の手配を講じ居れり

◯釜山市況閑散

釜山穀物市場は賣り物依然潤澤なるも何分急ぎ註文無き爲め市況は散收引不活潑にて相場冴なき模樣なり(釜山特電)

◯五島博士入城

生物學と衛生學に關する講演を爲すべく滿鐵の囑託を受けたる東京帝大理科大學教授五島清太郎博士は十二日午後七時廿五分南大門驛着列車にて入城朝鮮ホテルに入れり

◯實棉相場亂調

朝鮮に於ける棉花は昨年以來甚だ悲觀せられ諸種の事情に依り出廻りも遲く漸く盛期に入りし事とて漸次出棉の增加を見全南の如き競爭入札の行はれつゝある箇所は地場競爭買盛んにして之又出棉を促進しつゝあり其結果全南に於ては客臘月初めに於て三十五圓二三十錢を唱へしもの月末に至り四十一圓四十錢の暴騰を示せるが本月に入りて去る二日の入札に於ても依然強調にて低下せず目下大阪ミッドリングが百圓臺を割り九十九圓五十錢を唱へ居る際餘りに突飛なる騰振りは何等かの事情伏在するらしく注目されつゝあり又慶北に於てはミッドリングの下落に依り下押し繰棉上場著値段は一等棉二十八圓四十七錢二等二十五圓六十二錢三厘にて昨年末に比し各等五六十錢方の下落にて益々出廻りを澁滯せしめずやと懸念されつゝあり

◯米國領事歸城

京城駐在米國領事バーグホルツ氏は所用の爲め東上中なりしが十一日午後九時十分南大門驛着列車にて歸任せり

◯阪出技師歸任

總督府土木局技師阪出鳴海氏は内地に出張中の處十一日午後九時十分南大門驛着列車にて歸任せり

▲西本光定氏(代議士) 十二日夜入城
▲大塚完氏(滿鐵々道部理事) 同上
▲柴田善三郎氏(黃海道第一部長) 同上
▲谷澤卓治氏 陸軍大尉 同上
▲篠田治策氏(平安南道第一部長) 同上
▲和田塊次郎氏(大阪實業家) 同上
▲河合梅三郎氏(元山鮮銀支店長) 同上
▲井上清氏 十二日朝退城
▲山川良三氏 同上
▲波多野承五郎氏 十三日朝退城

◇鳥瞰錄

東上中の牧山耕藏君、元日に滅多よく袖翻に出かけると相憎乘つてゐた俥が顛覆し、シタカ肩を打つた▲車夫先生今更ながら恐縮し少し酒を頂きすぎまして、イーエ=と云ふので、一體イクラ飲んだのかと君は笑ひもせずに聞いて見た▲すると車夫公の答へにイー二升許りで……は嘩が大きい、下戸黨の君は成る程それでは仕方がないと獨り合點をし乍ら、匆々湯屋に出かけたが▲元日匆々の落車しかし乍ら今年は總選擧を控へてゐるわけでもないから、別に緣起論を立てなくともよからうと云つてゐるさうな▲鮮銀の不破秘書役は此頃和服で銀行に出てゐる、或人がさうしたのかと聞くと足を少し火傷してねーと云ひ乍ら例の如く苦笑してゐた▲その火傷に就て、君の同僚は何かと艶をつけた話しもしてゐるが然し原因はのみすぎのため、自宅のコタツの中に起つた過失と云ふのが事實に近いらしい▲唯君はバ嬢から來ぬ新尿病の所持者なので火傷の治りが遲いとは正月匆々氣の毒である▲米價は外米の輸入增加氣構へでビクビクしてゐる、諸物價の傾向から見て殊に出廻り時期の昨今、朝鮮で白米四十圓はどう見ても高すぎるビクビクしてゐるのはその高い證據だが、生產費などから見た平調の米價は先づ小賣白米三十二三圓、玄米二十六七圓だらう、目下の相場は七八圓方上りすぎてゐるやうだ▲昨今餘りあたゝかいので麥作悲觀の聲があるが柄がのびすぎるらしい。

告 佐賀縣人
本月十六日午後五時ヨリ花月樓ニ於テ佐賀縣人新年宴會開催候條御來會被成下度此段廣告候也
追テ會費金四圓當日持參ノコト尙出席者ハ來ル十五日迄ニ本町一丁目島崎龍一方ヘ御通知相成度
大正八年一月十一日
佐賀鄕友會幹事

第二次大寫眞 新規大撮影
舊劇 吃又平 全二十場
活劇 讀心術 全三卷
新派悲劇 想夫憐 全三卷
右揃ひたる三大映畫を本日より上場仕候
入場料 普通
黃金館

最新刊

世界的 ハンド サイクル
結氷の氷上に街上に最も適當の妙を得
安全にして輕快 定價九圓 送料要
京城本町一丁目 大阪屋號

京日案內

古物 高價買入 交換委託 店頭勉強 注文應需
黃金町三 電話一八六二 古物店

月收の御方へ 極秘迅速信用貸 土地家屋諸券 ……
京城大和町三ノ三 起木屋

藥湯 神經痛脚氣 冷性に特効あり 旅館の設備有之候
岡崎町 電話參壹貳番(龍山) 浦尾藥湯

洋服裁縫職工 大募集 數十名
特別優遇法あり希望者は至急來談あれ
京城南大門通 丁字屋商店

◯御袴仕立專門
格好能く迅速可憐に調進可仕候
京城本町四ノ一五 山崎商店

モーター 發動機賣却す
但船に取付けのまゝ附屬品共 右希望者は左記へ御照會ありたし
龍山 電話二六四番 アサヤマ

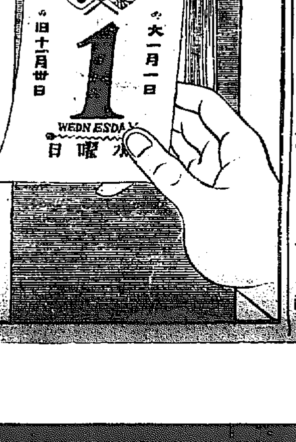
◯文檢習字科受驗者指導す
通信 習字教授 規則書要郵券三錢
美濃國安八郡馬の瀬 玉水

毛皮なめし仕立 並 鳥獸剝製 標本類調製
京城本町二 電話二〇六五番

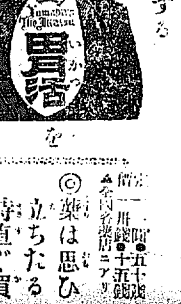
書記兼會計 採用
希望者は履歷書携帶來談あれ
京城黃金町一丁目 明治公債支部

忠統立替
地方府は規定郵送す
京城若草町 電話二一〇〇 西村商會

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
院長 酒井一郎
電話 一八番 二六〇〇番



一年の計は元旦にあり
胃の惡い方は思ひ立つたるを吉日に年の始からソレ五大軍醫の合議娶藥帖佐博士の推奬する



胃病良藥 胃活を常備藥として服用あれ
◎藥は思ひ立ちたる時直ぐ買ひ給へ
定價 一圓 五十錢
全國各藥店ニアリ
本舖 東京本郷三丁目 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房

資本金壹百萬圓 諸積立金參十貳萬五千圓
京城南大門通一丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
電話五五八。長六八一。三二〇七四番 振替京城一六一
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎮泰
支配人 豊田明敬
南大門支店 本町支店 仁川支店 平澤支店 群山支店 利川支店 東大門支店

李太王殿下御納品
品質撰擇
本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルヲ以テ金褐色(紅蔘ト同色)ニシテ粘著力強ク郁佳ナル雅味ヲ有シ、尾蔘ヲ原料トシテ速製セル暗黑色ニシテ苦味強ク鐵臭焦臭ヲ有スル粗惡品ト同視スベカラズ。

強壯、補血、興奮、健胃、利尿、鎭痛、發汗、收斂等ノ神效アリ
特約大販賣店
京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城二一〇〇番

♣我社主催全鮮歌留多大會

（上）入賞者一等大塚氏二等得野氏三等下田氏（下）大塚得野氏の一等賞爭奪戰

◎意氣白熱に達す

一等の榮冠大塚氏の手に歸す 盛なりし我社主催歌留多大會

梅の家樓上に於ける我社主催歌留多大會は午後の第二回戰よりは各選手の意氣愈々高潮し戰雲漠々として梅の家階上の大廣間に漲ひ或は携へた

▽白鉢卷 に勇氣をつけ双肌脱いでモーションをつけるもあり てなかく〳〵に物々しく聲自慢のリーダーが讀み上げる聲に應じて電光石火忽ちにして會場大廣間は大修羅場を現出した斯くする中に

▽第二回 の終り頃より一般の觀衆續々として踵を接し右側觀覽席の令孃夫人連十餘名の見物は一段の彩を添へ漸次盛んに起りたるが斯くて第三回戰に移り愈々選手の意氣は白熱に達し漸次頁出し佐藤、谷口、森本、寺尾の

▽各審判 は血眼になりて嚴正なる勝負の批判に力を注ぎわざ〳〵汝山より驅け付けたリーダー江島の音聲は選手の心を彌が上にも煽てるのであつた第三回戰にて最も緊張せる勝負は下田對田邊の決戰で田邊好く攻め爭ひたるも

▽大勢は 遂に田邊に非にして持札の少い下田が勝つた時の如きは滿場總立ちの大騷ぎ斯くて遂に第四回戰は夜に入り選り拔き選手の白氏戰となり二回戰三回戰の其以上に緊張せる猛襲に逆襲の

▽秘術を 盡す千變萬化の決戰は開かれ中にも大田の勇士得野對高田の戰鬪は四回戰中の見物であつたが不幸高田は猛將得野の爲めに一蹴を輪せられた斯くて準曾の主將下田對得野の優勝爭奪戰は非常なる興味のもとに迎へられた勝ち誇れる

▽兩將の 一騎打ちはリーダー奧野、谷口の讀方にて演ぜられ互ひに一進一退五分の隙もなかつたが下田過つて一枚のお手附が禍根を作つて得野の爲めに取られ次いで無所屬大塚對得野の一等賞爭奪戰は

▽滿場の 拍手を浴びて戰ひの幕は下された宛然嚴陣妻の如く兩將の右の手は動いて激しい戰ひは繼續觀衆は一齊に手に汗を握つた一榮一落これ春秋遂に常勝軍の得野も戰ひ利あらず大塚の爲めに屈られ一等の

▽榮冠は は大塚に奪はれたるは殘念であつた時に午後七時三十分、觀衆は滿場に溢れるの盛觀を呈せるが一同記念の撮影をなし賞品授與を行ひ有終の美を濟し散會した因に入賞者及び戰況左の如し

一等大塚氏（無所屬）二等得野氏（大田）三等下田氏（準）四等白石氏（美矢飛）五等渡邊氏（鐵道）六等高田氏（無所屬）七等田邊氏（鵠）八等岩垣氏（美矢飛）九等牧野氏（鵠）十等村田氏（美矢飛）十一等萩野氏（大田）十二等久木田氏（美矢飛）十三等奧野氏（二葉）十四等岡本氏（美）十五等川阪氏（鐵道）以下二十四等迄

▼第一回戰（印は勝）

吉安　長谷　武藤　小森　高田　中村　川坂　江島　白石　不破
谷口　山二口　高野　大島　久木田　篠島　大塚　中島　兒島　高藤
渡邊　池田　岩本　岩下　村田　堀口　岩垣　大塚　熊邊　永井

▼第二回戰

岡本　井原　坍田　松江　上田
奧野　菊池　德永　福野　森田　木邊
牧野　松本　萩野　佐藤　寺尾　寺尾

▼第三回戰

白石　高野　岩垣　武藤　萩野　岡本　德野　石口
大塚　井原　牧野　川阪　久木田　吉安　渡邊　奧野
松田　江邊　高田　兒島　村田　渡邊　安田　下尾

▼第四回戰

下田　高田　久木田
村田　大塚　德野　岩垣
白石　萩野　渡邊　牧野　野邊

▼一等爭奪戰

大塚　渡邊　白石　下田　高得　得野

▼決定戰

下田　得野　大塚

□藝術に死んだ須磨子の半面（中）

舞臺姿には熱があつた

その熱が彼の女の容姿を美くしく彩どつた

何時か世間では抱月氏を抱月と綽名して呼ぶやうになつた、恐らく抱月須磨子の仲を嫉妬半分から文壇の惡戯者が名付けたのであらうが坂本紅蓮洞などは『抱月閣下』と云ふ稱を呈して居たのである、だが此の綽名も決して誣言として打消すことは出來なかつた、文藝協會が始めて組織された當時

坪內博士邸で 發會記念の園遊會が開かれたが其時『抱月亭』と云ふ模擬店が出來たのを見て或文士は『抱月亭』と讀むよりは『抱月テエ』と讀む方が適切だと云つて笑つた事もあつた、果然此の言葉は讖をなして幾何もなく抱月須磨子の戀愛問題は持上つたのである。須磨子はさほど美しい女ではなかつたが彼の女が舞臺に立てば不思議に觀客の心を魅せずには置かなかつた。それほど彼女の舞臺姿は活々とした熱を帶び、その熱が彼の女の容姿を美しく彩るのであつた。舞臺の外に在つても此の熱情は往々彼の女をして禍機を作らしめ又放縱な行爲を敢てせしめた、

先夫の前因と 別れて文藝協會へ加入

須磨子はしてから嚴めしい博士の監督の眼を偸んで密に俳優の中から彼の女の相手となるべき男を物色した而うして彼の女が先づ第一に選定したのは二期生の吉田幸三郎であつた、吉田は女にしても見まほしいばかりの紅顏の美少年で且其の家は少からぬ資產があつたと云ふ、それでも須磨子は勿論吉田一人を永く守つて居る事は出來なかつた怜悧な彼の女は協會囑託の醫師で且有福な阪井谷平氏に秋波を送つた、或時斯んな喜劇があつた、夫は同協會の俳優東儀鐵笛が妻君を連れて

神田川へ鰻を 食べに行き二階へ上らうとする梯子の中途で今しも快い、微醉ひ機嫌に顏を赤く染ながら手に手を取つて降りて來る阪井氏と須磨子にバッタリ行き合つた意外な場所で意外な人に痴態を見せつけた男女は這々の體で逃出した

須磨子

◎兄弟喧嘩の間柄

在鮮諸君の御意見を承りたい

◇旅の恥は搔き捨てについて……

大町桂月氏曰く

私は在鮮諸君の御意見をも承はり度いのだが、是に就て私一個の考へを述べると、古來兩者はお互ひに喧嘩をしたこともある、一つになつたこともあれば離れたこともある、が今後は飽く迄日本の皇室中心主義の下にびつたり

▽融和し なくてはならぬ、又實際何等の懸念もなく此理想を現實にし得ると信ずる。古來兩者は兄弟である、朝鮮の方が早く大陸文明に接觸して是を內地に傳へた譯は、兄さんであるかも知れない。乃で吾々の家庭に就て見ても兄弟喧嘩は誰でもやるものだ、所が何うこ云ふものか幼い時に喧嘩をした兄弟が互に年を取ると今度は反對に非常に親しく思はれ仲がよくなるものだ、私も兄弟は多いが長兄は十三も年上だから兄弟喧嘩をやつて居ない、次の兄は四ツ年上であつたが生れると直ぐ

▽他家へ 養つたものだから無論喧嘩はして居ない、然るに胃腸に親しみも薄い、然るに喧嘩をしたり泣かせたりした所の姉とは今日では非常に親しくなつて居る、此人情は直ちに以て朝鮮人と內地人との關係にも當て篏めることが出來る、今日はお互ひ共に手を攜へて世界に活動すべき時期で以前喧嘩をしたこともあるだけ一層親密の度は深い譯だと思ふ。茲に一言附け加へ度いことは私が此間滿洲で朝鮮服や支那服を着けて歩いて見ると何うも內地人が私を侮る

▽傾向が ある、是れぢや大日本國民の態度とは云へない、世間でよく「旅の恥は搔捨」と云ふ言葉を口にする、大體此「旅の恥」の意義を思ひ違ひして居る人が大分ある樣だ、例へば朝鮮に來た人が便器で水を汲んで洗面したとか云ふ樣な、是れが眞正の旅の恥なのだ、然るに多くの人は旅の恥でなく旅の罪惡、罪惡では少し酷だが旅の惡戯を搔き捨位に思つて居るらしい。滿洲でも日本人の澤山居る所では支那人などの感情が何うも面白くない樣である、畢竟旅の惡戯の

▽搔き捨 てをやる連中が多いからではあるまいか、是れは吾々の大に反省しなくてはならぬ點だと思ふ

▼參加選手六十 目發しき、第一回戰が開始された頃から觀覽者と前後して遲れ馳せに驅け附けた選手が多數あつた何れも遲參を殘念がつてゐたが中には審判官の許しを得て第二回戰から飛込んだ者もあり來會した選手は總數六十餘名に達した

◎雪の卷狩

獲物を調理して舌鼓み

十一日午後一時五十分南大門驛發列車で京義線鷄井驛附近の帝釋山に向つた李王職々員後樂會野獸狩一行四十四名が同六時鷄井驛に着いて李王職森林事務所に陣取つて出陣の

◇段取を 定めて居ると三日前から先發して猪狩をして居る末松事務官金技師の一行から大きな猪を喫ち止めたと云ふ吉報があつたのと前後して獲物の偵察に出て居た人々から今大摩山方面で豹を認めたとか猪と取組みをしたとか雉が雀の群の樣に居たとか種々な報告が盛んに來たので一同大喜びで

◇祝盃を 擧げたそれから一眠りしたかと思ふと出發と云ふ命令が來た時に午前六時、前日來の雨は雪と變つて白雪皚々の獵日和、驚て一行はザク〳〵と雪路を踏んで目的地に向つたホイホイの聲勇ましく前後三回の卷狩をやつて猪一頭兎八頭雉四十羽小島數十羽を擊ち止めて凱歌を奏して午後二時事務所へ引揚げた其處へ末松事務官一行が擔中に

◇卅餘貫 もある大猪を背負はせて引揚げて來たので期せずして萬歲が起つた斯うして居る内に其の獲物を調理して啖摩汁が出たので一同舌鼓を打ちながら七時廿五分南大門驛着列車で引揚げたが列車が開城驛を出た頃から各自の功名談に花が咲いて一時は非常な賑はひであつた

◇五島博士講演（奉天特電）五島

[illegible]總長は十二日[illegible]險閱の七回夜長春へ向へり（奉天特電）

▲戰後計營 に關し其指導する勞働者一千八百萬と之に歐洲よ[illegible]其他の諸工場に雇用せられ居る[illegible]資本家が此機會を利用して低廉なる勞働者を雇用し[illegible]整理を行ひ[illegible]經濟界の整理を行ふに於て[illegible]援助する爲めには資本を供給せざる可からず[illegible]敵國に對しても[illegible]何等の危機を見ることなくし[illegible]と信ぜらる（東京）

東京大相撲

春場所初日（十二日）

東京大相撲春場所初日の勝負左の如し（東京特電）

勝　　負

橘錦（下手投げ）友の浦
宇都宮（吊出し）太刀光
八甲山（寄倒し）敷島
大潮（吊出し）岩木山
藤の川（寄倒し）綾川
御西山（[illegible]）大の高
大門岩（出投げ）阿蘇嶽
大の里（蹴切り）三杉磯
稻師（突出し）白岩
若湊（切返り）宮城山
常の花（櫓投げ）大の高
朝潮（極倒し）兩國
大錦（吊出し）大鳴門
栃木山（突放し）黑瀨川

中入後

□の矢（押切り）鬼鹿毛
釋迦嶽（寄れ込み）矢筈山
一湊（打ちやり）紅葉川
駒泉（突出し）清瀨川
對馬洋（預）千葉崎
大戸平（投げ）九州山
鳳（[illegible]）源氏山

▲綾川右首投げを打ち藤の川にて寄り倒して勝▲大門岩に阿蘇一合しに阿蘇左首投げ打ち大門巧に外し投げ極つて大門岩の勝

▲三杉に大の里 大の里三杉磯立上りて押し右四こなるや三杉差手を捻し引立て氣味に寄りて左上手廻し寄れ込みしも踏越ゆりて三杉の負▲稻師に白岩右四つ鋭く寄り立て土俵際にて突放して勝▲兩國に朝潮兩國の右を搔つて極め倒して朝潮の勝▲大錦に大鳴門立上るや朝潮[illegible]勝▲大錦に大鳴門[illegible]て押し[illegible]勝▲栃木山に黑瀨川黑二本差し兩手にて[illegible]四つに[illegible]腰弱く栃木山の勝▲[illegible]突き放して勝（中入）▲逆の矢[illegible]鬼鹿毛鋭く突つかけ諸手押切▲釋迦ケ嶽に矢筈山右四つ寄切つて釋迦の勝▲一湊に紅葉川右四つ紅葉吊身に寄れ込みて勝▲駒泉に清瀨川駒鋭く突つ張り突出して勝

▲對馬に千葉 容易に起たず立つや右四つこなり千葉一氣に寄り進み土俵際まで寄り詰めしも對馬廻り込みつゝ小手投げ打ち行司は對馬に踏み越しありと見て軍扇を千葉に上げ大物言ひ付きしも結局預かりとし星は對馬のものとなる

▲九州に大戸 ガッシリ左四つ九州一氣に寄り立て大戸土俵際にて掬ひ投げ打ち大戸の勝は大喝采▲源氏山に鳳、源氏註文付け容易に起たず立ち上るや右四つとなり源氏鋭く寄り立て小手投げ打ちて源氏の臆を挫き其儘寄切て鳳の勝にて打出し

▼二日目取組

十三日二日目の取組左の如し

鬼鹿毛　太刀光―紀の川
大岬　大の里―八甲山
神力　矢筈山―大戸平
逆の矢　綾川―宇都宮
一岩　阿蘇嶽―紅葉川
一湊　津風―駒泉
三杉磯　黑瀨川―千葉崎
對馬洋　九州山―兩國

大鳴門―大の高　大潮―岩木山　大門岩―敷島　常の花―大錦

◎圓滿なる木村技師の家庭

自殺原因は精神異狀の爲か

京城工業專門學校教授中央試驗所技師木村俊吉（三）氏が十二日未明京義線長湍驛附近に於いて剃刀自殺を遂たることは夕刊所載の如くなるが同氏の原籍は愛媛縣松山市柳井町六十三番地にして當時京城本町五丁目八十番地に居を構へ夫人かめよ（二）及び愛兒かよ子（三）の三人暮しにて家庭は極めて圓滿にして職務上にも何等の缺陷なき人なりしと云ふ然るに氏は八日より公務を帶び一週間の豫定を以て鑛石調査の爲め慶尙北道方面に出張せしも出張中少々不快の爲め豫定を變更し歸宅すべきことを夫人に宛て通知し其歸宅の途中に於て既報の如き自殺を遂げたるものなれば死因は多分平常勉强過度の結果として精神に異狀を呈したるものらしく屍體は係り官檢視の上一旦驛に於て同氏夫人に引渡したり

◇年賀狀のカード

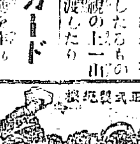
住所氏名簿を作れ

◆四方八方から舞ひ込んで來る年賀狀を丁寧に整理して仕舞つて置くのも一分別ですが住所の移轉などをも多くは年賀狀に依つて知る場合があるので一々書き付けて置けば宜しいが時經て忘れた頃に書き付けようとするといつか子供のおもちやになつてしまつたりしてゐることがあります◆貰つた繪葉書などを他日の思ひ出に大切に保存して置くのも人々の趣味に依ることですが然し年賀狀も千枚二千枚と云ふ大した數になると一寸仕舞つて置くのも困難です其內に何處かへ散らばつて肝腎の友達の住所を調べようと云ふ時には見失つて居ります◆友人知己の住所も一々名簿に認めて置くに越したことはありませんがそれは可成り手數のかゝることで忘れがちになるものですそれで年賀狀の整理上にも都合が好く住所、名などを手取り早く見ることが出來るやうに年賀狀でカードを造ります◆それは年賀狀の住所氏名のある部分を名刺位の一定の大きさに切り取つてカードを造り『いろは』分けにして綴つて置きます一時は面倒ですが斯うして置けば別に名簿を造る必要もなく書く手數も入りません住所の變つた分は其都度カードを訂正すれば宜い譯です◆來年の正月に自身に年賀狀を差出す際にも至つて便利でカード式ですから自身に忙しくて書けない時には他人に依頼するとも出來て整理が良く付きます、でいくら一致でも家內の人達が正月の夜遊び仕事にでも造つて置けば一日されほど面白いか分りませんばかりか又其の中で特別關係のある人！など又其のカードに色分けするのも面白い（[illegible]）

鐵道拂下品販賣
冬羅紗洋服外套
毛皮胴着並防寒具
軍隊拂下品一式
和洋古着衣服類各種
特製品コート詰衿折衿洋服 長トンビ大小高女太物婦人
多少に不拘御用命被下度候
龍山元町二丁目
ヨ金子奥市商店
電話長一〇五番 振替口座京城二八三二

京城本町二丁目
川合時計店
電話二九一八 振替京城二三九一

店員募集
年齡十七八歲ヨリ二十二三才マデノ內地人數名
京城黃金町一丁目
三 京城支店
電話七八〇番


大正式製疏機
東京本所長崎町三日本殿興

東京三金の靴

ボックス革編上 一號四圓五十錢 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢
ボックス革變化 一號四圓五十錢 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢
ボックス深ゴム 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢
御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候
▽革見本寸法用紙付目錄進呈 ▽御覽御希望の向は特別割引宜御相談に應じ申べく候
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六九 振替東京一七二三〇

贈物あり注意新聞八日の本紙御覽
りん病 新藥
はい毒 新藥
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會本部
京城黃金町參丁目電車通 ドラッグ商會支店
龍山練兵場電車交叉點前 同支店

眼科專門
京城若草町
金井眼科醫院
電話一五五六
新患來院[illegible]

外觀の美と質實の堅牢
目錄進呈

東京 竹內ペント金庫
賣捌 熊平商店

新春第二次大寫眞
菊池幽芳先生傑作 日活十大悲劇之一
新派悲劇 月魄 雄大篇
今回迄幾多居活動寫眞等にて紹介されしが其實質を抽寫する事の出來ざりしを遺憾とす今回日活會社が日光の實景を應用して在來の平凡な題材を脫ひしより遙かに好く殊に原作に忠實にして其眞價を抽寫せるは本寫眞の誇りとする所
舊劇 武藏屋新藏 全四卷
尾上松之助中村扇太郎一座大車輪
滑稽活劇 ドーグラスの奮鬪 全五卷
米國トライアングル會社大作品
十三日より
大正館

丈なす黑髪
つやゝかな美髪となるには
純良煉香油
レートポマード
東京 平尾賛平

內科 小兒科
京城永樂町一丁目（商品陳列館前）
村上病院
院長 醫學士 村上龍[illegible]
電話六三[illegible]

母と子 (七十七)

北島春石作 森田久畫

椿事 (三)

今はいたづらに悔むも詮なし、志保子幸枝の親子を見送つたおいとが、自動車のうしろ影が脊に紛れ去つた後、儚に掌裡の珠でも失つたやう、悄然として門口を離れかけたところへ、折よくも亭主の植惣が戻つて來た。

『おゝ、おいとぢやねえか。』と、呼びかけるさへ狼狽氣味『留守中に何も別條はなかつたか。』と訊いたのは、先刻、魚久の門で見かけた自動車の一件が氣にかゝり、それへ飛乘るのもそこ〳〵、弟子達より一足先に驅戻りしものと見受けられた。

『それがお前さん、大變なことが出來たから、すぐに飯田町まで行つて貰はなくちやならないよ。』

『何だと?』植惣は女房の顔を穴のあくほど睨めながら、『大變なことつて何うしたんだ……ちつと俺にも心配な事があるから早く聞かせてくれ。』

おいとは留守中の椿事を手短に物語つた後『然ういふ事情ゆゑ、奥様はお嬢さんを連れて病院へ……わたしや何うしたものかと一人でうろ〳〵、どんなにお歸宅を待つてたか知れません。』

『やや、森泉の先生が大怪我を……』と、如何にも喫驚したらしく腕組して、植惣はとやかく思案投首『それやな、人間はいつ何時災難を合はねえとも限らねえが、どうも變手古に思はれて仕方がねえぜ。』

『ぢや、お怪我をなすつたのは嘘でも……』

『さあ、未だそこまで突止めもしねえが……うむ!待てよ。』と、やう〳〵考慮がまとまつたらしく『こゝで小田原評定したつて始まらねえ。奥様が何と言ひなさらうと、俺が戻るまで無理やりにも引止めなかつたが手落だが、今更お前に愚痴を並べても仕方ねえ。嘘か眞か、これから直ぐ飯田町へ出かけよう。で、何ういふ病院だい。』

『呀!』と、おいとは始めて氣がついた『あんまり慌てたものだから、うつかり聞くのを忘れてしまつて……』

『間抜けめ!』と聲を尖らせ『やい、お前も植惣の女房ぢやねえか。そんな鈍痴をふんで何うするんだ。』

『ほんとに濟まないことを……何うぞね、悪く思はないで下さいよ。』

『いゝや、俺は悪く思ふぞ。』と、女房の眼前へ、喉骨を突出し『第一あの奥様やお嬢さんが自動車で運れて行かれたことから氣に喰はねえ。萬一留守を預かるお前の鈍痴から、お親子が誘拐でもされて見ろ!夫婦の縁を切つたばかりぢや承知しねえから。』

『馬鹿なことをお言ひでないよ!他事で離縁されて堪まるものかね。』

『その御託なら後刻で聞かう!ともかく、病院を飯田町へ行つて尋ねるとして、俺は早速出かけよう。』

女房との爭論は好い加減に切り上げ、植惣が只一文字に飛出さうとするところへ、相變らず酒機嫌で今の噂の森泉直樹が悠々と戻つて來た。

院長 醫學士 森定吉
(芙蓉醫院改め) 内科 小兒科 森病院
……へ 院 隨意……
京城明治町三丁目 (元鶴田醫院跡) 電話二六二三番

『何處へ行くのぢや、親方。』植惣は元よりおいとまでが吃驚仰天。

『や、先生……これや確にお嶽の先生だ。』

『お怪我は……あのお怪我は何うなさいましたか。』

『何ぢやと?』直樹は不審の面色で、夫婦の顔を左右に見した。『誰ぞ怪我でもしたか。』

『それが先になんで……飯田町とかで自動車に轢き倒され、あばら骨をメリ〳〵メリと挫折られたさうで。』

名刺 京城 太平堂 電話一七二二番 振京一三六七番

『馬鹿なことを!』と、白髯のそよぐ胸を叩いて、直樹は喚くと打笑つた『見い!俺にはこの通り變りがないぞ。』

『ぢや、やつぱり一杯食はされたんだ。』と、植惣は地だんだを踏んで『先生……大變な事件がおツ始まりましたぜ。』

『何ぢや!』

『奥様とお嬢さんが……高松の野郎に拐はれやした。』

『うむ……それは非常か。』と、直樹の酔ひは一時に醒めて、植惣の面を睨み据ゑた。

おいとは何うしていゝやら、唯うろ〳〵するばかり。

故鈴木校長吊慰奨學資金寄附者 (第二十五回)

▲二圓五十錢淵上浩次郎▲一圓五十錢佐々傑太郎▲一圓寺井虎重▲一圓光宗幸造▲五十錢棟重清次郎▲一圓五十錢池上久五郎▲五十錢早林伊太郎▲五十錢井上悲期▲一圓和田賀郎▲五十錢岡崎隆玄▲五十錢鈴木鶴藏▲十錢山内ゞ▲二十五錢高森俊三郎▲十五錢大角仙次▲十五錢小淵ツ▲二十五錢

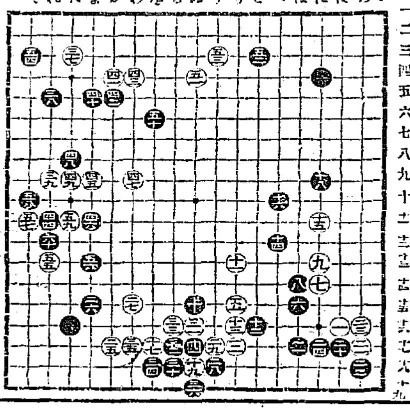
▲二十五錢中村勘三▲十五錢尾田村熊次郎▲十五錢中山婆婆之進▲五十錢西谷正治▲五十錢高桑正秀▲二十五錢蓮沼勇太▲五十錢星野政太郎▲二十五錢磯田甚太郎▲五十錢江守長吉郎▲二圓五十錢大多和車一▲一圓河合鎮▲一圓河合秀一郎▲二圓廣池厚次郎▲一圓八幡まさ▲一圓八幡ふさ▲一圓八幡大次郎▲一圓藤伊助▲五十錢竹原如牛▲一圓末岡和吉▲一圓清水留吉▲五十錢絹貫盛春▲二圓井上宜文▲二圓織居加一▲一圓北原利男▲一圓宇田留十▲三十錢橋本辰藏▲一圓西村利平▲五十錢谷口米藏▲一圓松田文藏▲五十錢古賀三太郎▲一圓佐渡秀孝▲二十錢古永島唯治▲五十錢石川藤三郎▲二十錢三谷重藏▲三十錢原武彦三郎▲五十錢時重作二郎▲五十錢古賀喜市▲二圓天原虎彦▲一圓浪池乙松▲五十錢菅野吉造▲二十五錢丸山卯川政吉▲二十五錢淵上惣平▲五拾錢村今村善七▲二拾五錢田力松▲五拾錢西村武夫▲三拾錢西村常七▲一圓村上喜代藏▲三拾錢藤原勝次▲三拾錢中村國藏▲拾錢古川力藏▲五拾錢橋本德松▲五拾錢西村寅之助▲一圓鳥山富左衛門▲一圓山田八太郎▲一圓白川平治▲五拾錢藤本儀平▲一圓田中源吉▲一圓板谷八三▲武拾錢藤本貫▲五十錢成山鶴吉▲五拾錢川上佐吉▲五拾錢伊藤岩吉▲五拾錢川口彦太郎▲五拾錢藤崎清作▲五拾錢江野善次郎▲五拾錢田村仁三拾▲小口卯三郎▲五拾錢吉岡宇太郎▲五拾錢林惡東吉▲五拾錢白石和吉▲一圓玉東吉▲五拾錢早川鐵次郎▲五拾錢金澤儀作▲一圓池田松太郎▲一圓堀田マス▲一圓大谷利吉▲一圓川端工所▲五拾錢田森三郎▲二圓岩永浩▲一圓吉原一八▲二圓幾野唯六▲五拾錢山本供平▲五拾錢内山彦一▲五拾錢井上吉▲五十錢橋口昌美▲五拾錢竹田秀也▲二拾錢岡堀善太郎▲五拾錢前野仁太▲二拾錢糀井近吉▲五拾錢景山金次郎▲參拾錢永清入▲五拾錢柯子田喜▲五拾錢竹内太三郎▲五拾錢賀白文太郎▲拾錢龍谷▲壹圓板東嘉次郎▲五拾錢後藤純二郎▲一圓深井庄吉▲五圓兼古禮藏▲五十錢丸田作一▲一圓山崎新▲一圓岩松▲一圓井口淡▲二圓堀行衛▲五拾錢田口幡澤久次郎▲五圓誥川雄▲二圓福閏多川保太郎▲五圓奥野▲二圓鳴清一郎▲一圓五十錢坂井田キン丸▲一圓川瀬▲一圓上野孝▲二圓金▲一圓諸岡榮▲一圓草鶴之進次郎▲五十錢柿本典藏▲五十錢渡邊濟▲五十錢高木富士子▲五拾錢谷垣宗三郎▲五拾錢鎮五拾錢八木吉三郎▲五拾錢西田猶吉平▲五拾錢河野萬藏▲五拾錢今田安善三郎▲五拾錢坂倉秀吉▲五拾錢森岡▲五拾錢東武熊▲五拾錢山本福次▲五拾錢藤川丹藏▲五拾錢大山新藏▲五拾錢稲川芳太郎▲參拾錢木下興三郎▲三拾錢建部廣八▲武拾錢柄本常吉▲二拾錢鈴木鐵吉▲二拾錢奧山六三郎▲二拾錢永原カツ▲二拾錢大谷榮太郎▲二拾錢藤川卯三郎▲五圓廣江澤次郎▲三圓慶南昌原郡熊川普通學校職員一同

累計金六千五百五圓七拾七錢也

碁戰 (四)

三段 山平 南圭

二子 白



新春の薄化粧料

白色美顔水

水仙

嬉しいと思召す事……四つ

學校へ御通學の御愛嬢とも〳〵

餘所のお家を御訪問なざいふ場合、學校には御勉強でも、未だお化粧の方には半生熟りお構ひのない方々は、中々お化粧が美しく出來兼ねます。これは顔の地肌がお化粧馴れしてゐないからで、全く無理のない事ですが、然ういふ場合に、白色美顔水をお用ゐになれば、誠に苦なくすら〳〵と、美しい品のよいお化粧が出來ます。それから

汽車の時間等が迫つて大急ぎと

いふ樣な時、または御主人が外から御歸宅になると其儘、『さあ直ぐ一緒に出かけよう。』と洋服も脱がずに仰有る樣な場合、其他何にしても斯うしたお急ぎの時などには得てお化粧も變な工合になり度がるものですが、そこを白色美顔水を一寸お用ゐになりますと、狼狽る必要もなく、直ぐに充分美しい整つたお化粧が出來るのです。次に

吹出物やにきび また顔色の工合

で、何う骨を折つて見てもお化粧が思はしくなく、斑になり又變な色澤になり、濃く附ければ又白ペンキの樣で、如何しても工合が悪いといふ樣な場合、白色美顔水でお化粧をなされば、これは又何の努もなく、すら〳〵と行遂つて、誠に自然生れつきの色白かと見違へるばかり、すつきりと、高尚な美しい〳〵お化粧ぶりを發揮しますのです。それから又

肌理の荒い方 脂の多過ぎる

方、これは丁度反對の方々ではありますが、お化粧が美く出來ぬ事は一緒であります。此方々は白色美顔水を常用なされば、毎も氣持よく斑なく美しいお化粧が出來るといふお喜びに加へて、肌理は次第に滑かに美しくなり、素の美しさを添へる一方、脂の多い方は其爲めに出易い吹出物なども出なくなるといふ、一寸反對した兩方によい成分を、此化粧料に含んでゐる事が自然分ります。されば白色美顔水は

あらゆる御家庭の必要品として

ます〳〵人氣を集めてゐる次第でありますが萬一にも未だの方は、早く此學者の創製したる新化粧料にて、從來のお化粧の缺點をお取去りなさる樣お薦めします。

光榮ある御化粧料三十六種の内

東京 桃谷順天館 大阪

塗料 土工用器具及材料
船具 雨覆天幕製作販賣
油類 近江帆布會社製品
金物 朝鮮一手特約店
同免許船燈製作販賣所
旗印石油合組販賣所

本店 仁川本町一丁目 村谷本店 電話長五六番 振替京城五九番
支店 仁川府支那町 村谷石炭部 電話八一九 振替京城五九番
平安北道義州城內 義州印刷所 電話長二一 振替京城九八

小島輔用 カスミ網
極上絹糸製・◎其他雁鴨兎網無双網等種々あり
高さ六尺 横巾二間 一圓半
高さ六尺 横巾五間 四圓
京城永樂町二丁目 吉備商會 電話三一二四番 振替京城一三二六番

醫化學器械一式 藥種賣藥卸商
(K)
仁川本町 北島藥店 電話一三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

品質第一
銘酒瓶詰之一大權威
全道各地之需要激增

大阪府堺町
宅合名會社
攝津灘工場吟醸部

海軍教育施設

新計畫の内容

……に伴ない人員も從つて附加するに至る……

▲潜水艇學校

……歐盤の中に潜水艇乗組員教育の……

……大正九年度には提案せらる……

……十八圓此再保險料三十四萬四千百……七十七圓は船舶保險にして千八百……五十二圓此再保險料二千五百七十……萬三千九百五十九圓此再保險料一……八萬一千六百五十六圓……千八百十二萬五千五百七十四圓……る補償金は八萬八千……して當初よりの總計……